

平成 2 8 年 度
主要な施策の成果

京都府宇治田原町

〈 一 般 会 計 〉

(款) 2 総務費 (項) 1 総務管理費 (目) 1 一般管理費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課
<p>5 国際交流事業費</p> <p>(歳入歳出決算書 P. 49)</p>	215	121,338	<p>「緑茶発祥の地」である本町と「お茶発祥の地」である中国雲南省との民間交流を推進するため、関係機関と連携し各種事業を展開した。</p> <p>◆国際交流講座～中国を知ろう！！～ 京都府名誉友好大使(中国籍)の茶摘み体験とともに、中・高学年の教室に入り、中国茶文化を中心に紹介 ○宇治田原小学校 5月20日(金)／友好大使＝2人 ○田原小学校 5月27日(金)／友好大使＝3人</p> <p>◆小学生児童手摘み茶プレゼント 学校茶園で摘んだお茶とメッセージを添え、中国雲南省政府へ贈呈</p> <p>◆ふるさとまつり国際交流ブースの開設 ○10月16日(日) 講師：野本佳代子氏(中国茶芸師) 補助：チョットボランティア(維中学生徒) ○中国茶(プーアル茶)による茶香服 ○中国茶(雲南省)の試飲</p> <p>◆雲南農業大学学生訪問団の受入 ○12月19日(月) ○場所：町内茶園、永谷宗円生家 ○参加：雲南農業大学12名、京都府立大学4名</p> <p>◆メッセージカードの交換</p> <p>◆国際交流に関するアンケートの実施 諸外国に対する理解や認識の把握、新たな海外自治体との交流事業の参考とすることを目的として実施。 ○期間 平成28年11月28日から12月22日 ○対象 町内小中学生(小学5～6年生、中学1～3年生)</p>	総務課

(款) 2 総務費 (項) 1 総務管理費 (目) 1 一般管理費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課
<p>16 情報セキュリティ強化 対策事業費(繰越)</p> <p>(歳入歳出決算書 P.51)</p>	<p>13,687</p>	<p>13,682,520</p>	<p>新たな自治体情報セキュリティ対策の抜本的強化対策を実施した。</p> <p><内容></p> <p>■二要素認証システムの導入 個人番号利用事務系端末に、静脈認証装置を追加導入することで、事前に静脈情報を登録した者以外が端末を起動できなくなり、システムの不正利用を防止することが可能になった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・認証サーバの導入 ・クライアント端末への静脈認証装置の導入 ・付帯作業(現状分析・設計・設定・テスト等) <p>■資産管理システムの導入 個人番号利用事務系端末に、資産管理システムを導入しUSBメモリ等の利用制限を行うことで、第三者による不正なデータ持出しが不可能になった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資産管理サーバの導入 ・資産管理システムの導入 ・付帯作業(現状分析・設計・設定・テスト等) <p>■L G W A N系サーバの導入 職員が利用する事務用パソコンをインターネット系サーバから新たに構築したL G W A N系サーバに移行することで庁内L A Nのインターネット分離が可能になった。 インターネット分離の実施により、外部からの不正アクセスやウイルス感染等によるインターネットへの情報流出を防ぐことが可能になった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ドメインサーバ(主・副)の導入 ・L 3 S Wの導入 ・付帯作業(現状分析・設計・設定・テスト等) 	<p>企画財政課</p>

(款) 2 総務費 (項) 1 総務管理費 (目) 2 文書広報費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課
5 宇治田原町の「いいところ」発信事業費（繰越） （歳入歳出決算書 P.51）	600	569,160	<p>宇治田原町の強みを積極的に発信する「シティプロモーション」の強化のため、町のホームページのカスタマイズ（改修）を実施した。</p> <p>○トップページにスライドショー型メインビジュアルを配置し、新たに作成したシティプロモーションページへのリンクを設定した。</p> <p>○ホームページを見た人に、自然な流れで宇治田原町の「いいところ」を知ってもらえる構成とし、シティプロモーションの発信強化につなげた。</p> <p>（P.7「ハートのまち」PR事業費中の「いいところプロモーション・プロジェクトチーム」において、ホームページリニューアル等のアイデア検討を重ねた。）</p>	総務課

(款) 2 総務費 (項) 1 総務管理費 (目) 5 財産管理費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課
<p>1 新庁舎建設計画事業費</p> <p>(歳入歳出決算書 P. 53)</p>	<p>22,056</p>	<p>21,960,528</p>	<p>新庁舎建設用地の適切な取得を図るため、地盤調査等の基礎的調査を行い建設候補地の現状を把握した。 宇治田原町新庁舎建設基本構想を踏まえ、上記調査結果等に基づき宇治田原町新庁舎建設基本計画を策定した。</p> <p><実績></p> <ul style="list-style-type: none"> ・庁舎建設委員会（識者・住民等）の開催（2回） ・庁舎建設プロジェクトチーム会議の開催（1回） ・庁舎建設推進本部の開催（2回） ・新庁舎建設用地地質調査業務 一式 ・新庁舎建設用地土壌調査業務 一式 ・新市街地内用地測量業務 一式 <p><事業経過></p> <ul style="list-style-type: none"> ・庁舎建設委員会の開催（平成26年度2回、平成27年度2回） ・庁舎建設プロジェクトチーム会議の開催（平成26年度2回、平成27年度2回） ・庁舎建設推進本部会議の開催（平成26年度1回、平成27年度2回） ・庁舎建設委員会と庁舎建設プロジェクトチーム合同先進事例視察の実施（平成27年5月28日 和歌山県湯浅町） ・新庁舎建設基本構想の策定（平成27年9月30日） 	<p>プロジェクト推進課</p>

(款) 2 総務費 (項) 1 総務管理費 (目) 7 企画費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課
<p>1 まち・ひと・しごと創生総合戦略推進事業費</p> <p>(歳入歳出決算書 P.55)</p>	192	122,800	<p>人口減少の克服と地方創生を目的とする「宇治田原町まち・ひと・しごと創生総合戦略」に関する取り組み状況の評価・点検等を行うことにより、戦略の着実な推進を図った。</p> <p>〈推進体制〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 地域創生総合戦略推進委員会(外部組織) 2回開催 戦略策定時の外部組織「地域創生総合戦略会議」に引き続き、住民代表および産業界、行政機関、学識経験者、金融機関、労働団体及びメディア(産官学金労言)の関係者12名で構成。 会長：谷口 知弘 氏(福知山公立大学教授) ○ 地域創生本部(庁内組織) 1回開催 理事者及び所属長を本部員として組織。(本部長：町長) <p>〈評価の内容〉</p> <p>推進委員会において次に掲げる事項について協議、意見提案。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 総合戦略の取組状況の評価、点検 (2) 総合戦略の見直し (3) その他総合戦略の推進に当たって必要な事項 <p>※第2回会議では、国の地方創生拠点整備交付金の採択を受けた戦略の改定を併せて協議、決定。</p> <p>〈参考・総合戦略の概要〉</p> <p>[計画内容]</p> <p>まち・ひと・しごと創生総合戦略は、人口ビジョンと地域創生総合戦略で構成。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 人口ビジョン 本町の人口の現状等を分析し、様々な仮定の下で将来人口推計を行い、今後めざす将来の方向と展望を提示。 ○ 地域創生総合戦略□ 人口ビジョンを踏まえ、国の総合戦略と整合を図った政策分野ごとの5年後の基本目標や政策の基本的方向、具体的な施策等をまとめた戦略。(第5次総計の「まちづくり戦略」と一体的に策定) <p>[計画期間]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 人口ビジョン：平成52(2040)年を目標年とする。 ○ 地域創生総合戦略：平成27年度～平成31年度(5年間) □ 	企画財政課

(款) 2 総務費 (項) 1 総務管理費 (目) 7 企画費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課
<p>7 「ハートのまち」PR 事業費(繰越)</p> <p>(歳入歳出決算書 P.55)</p>	300	273,158	<p>「第5次まちづくり総合計画」及び「まち・ひと・しごと創生総合戦略」に基づく宇治田原町のシティプロモーションの一環として、第5次総合計画の将来像のサブコピー「やすらぎ・ぬくもり・ハートのまち」の打ち出しによる宇治田原ブランドの発信を積極的に進め、まちの活力や定住促進等につなげた。</p> <p>〈内容〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 大学生等のアイデアにより、「ハートのまち」のPR方策を検討・実施した。 <ul style="list-style-type: none"> [同志社大学] <ul style="list-style-type: none"> ・ 平成28年3月に「宇治田原町のまちづくり活動等に関する連携協力宣言」を締結したボランティアサークル「ASUVID今出川」のメンバーと共同で1分半程度のショートムービー(宇治田原の「いいところ」ムービー)を自主製作、Youtubeにて公開。 [京都府立大学] <ul style="list-style-type: none"> ・ 平成20年2月に「まちづくりに関する連携協力包括協定」を締結した京都府立大学からインターンシップ生を受け入れ、「ハートのまち」PRのための施策立案を実施、一部を平成29年度予算にて事業化。 ○ シティプロモーションに係る事業の担当者、公募職員を含む庁内組織「宇治田原町のいいところプロモーション・プロジェクトチーム」(いいところPT)を組織。 <ul style="list-style-type: none"> [会議開催回数] <ul style="list-style-type: none"> 全体会6回・茶ッピーグッズ意見交換会2回 ・ 上記大学生と連携したPR方策のほか、茶ッピーグッズ、ふるさと納税特産品公募、町ホームページリニューアル等のアイデアを検討・実施。 	企画財政課

(款) 2 総務費 (項) 1 総務管理費 (目) 7 企画費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課																															
8 まちのมาสคอต 「茶ッピー」活用事業 費(繰越) (歳入歳出決算書 P.55)	750	748,698	<p>まちのมาสคอตキャラクター「茶ッピー」のオリジナルグッズを作成し、各イベントや来庁者等に対して配布・販売することで、「茶ッピー」及び宇治田原町の魅力のPRと郷土愛の醸成につなげた。</p> <p>〈グッズの作成内容〉</p> <table border="1" data-bbox="1102 499 1917 898"> <thead> <tr> <th>グッズ内容</th> <th>作成数</th> <th>配布・販売</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ハンカチタオル</td> <td>500</td> <td>配布</td> <td rowspan="2">「平和のつどい」で無償配布</td> </tr> <tr> <td>缶マグネット</td> <td>300</td> <td>配布</td> </tr> <tr> <td>トートバッグ</td> <td>100</td> <td>販売</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ボールペン・メモ帳</td> <td>各500</td> <td>販売</td> <td></td> </tr> <tr> <td>付箋紙</td> <td>500</td> <td>配布</td> <td>「ふるさと文化賞」「人権のつどい」の参加賞としても配布</td> </tr> <tr> <td>車用ステッカー</td> <td>300</td> <td>販売</td> <td></td> </tr> <tr> <td>オリジナルシール</td> <td>1,000</td> <td>配布</td> <td>子育て支援センター等で児童に配布</td> </tr> </tbody> </table>	グッズ内容	作成数	配布・販売	備考	ハンカチタオル	500	配布	「平和のつどい」で無償配布	缶マグネット	300	配布	トートバッグ	100	販売		ボールペン・メモ帳	各500	販売		付箋紙	500	配布	「ふるさと文化賞」「人権のつどい」の参加賞としても配布	車用ステッカー	300	販売		オリジナルシール	1,000	配布	子育て支援センター等で児童に配布	企画財政課
グッズ内容	作成数	配布・販売	備考																																
ハンカチタオル	500	配布	「平和のつどい」で無償配布																																
缶マグネット	300	配布																																	
トートバッグ	100	販売																																	
ボールペン・メモ帳	各500	販売																																	
付箋紙	500	配布	「ふるさと文化賞」「人権のつどい」の参加賞としても配布																																
車用ステッカー	300	販売																																	
オリジナルシール	1,000	配布	子育て支援センター等で児童に配布																																

(款) 2 総務費 (項) 1 総務管理費 (目) 7 企画費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課
<p>9 ふるさと納税促進事業費(繰越)</p> <p>(歳入歳出決算書 P.55)</p>	200	196,669	<p>町内事業者等からふるさと納税の御礼品(ふるさと特産品)を公募し充実することで、ふるさと納税制度の寄附金の拡大を図るとともに、本町の特産物PRによる魅力の発信、特産品の販売促進による地元経済の活性化等に寄与した。</p> <p>〈内容〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ ふるさと納税の新たな特産品をPR・募集する「ふるさと特産品カタログ」作成に向け、町内事業者に御礼品の公募を実施。 <p>[公募期間] 平成28年8月1日～9月16日</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 合わせて、本町のシティプロモーション方策を検討する庁内組織「宇治田原町のいいところプロモーション・プロジェクトチーム」(いいところPT)にて、ふるさと特産品の想定品目を提案、営業活動を実施。 ○ 宇治田原町のいいところ(特産品)を届けたい想いを込めた特産品カタログ「ふるさと納税お返しギフト」を担当課及びいいところPTにより自主作成。 <p>[品目等] 20事業者55品目 [カタログ配布・寄附金受付] 平成28年12月5日より新たな品目での寄附金受付開始</p> <p>〈参考〉返礼割合等</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 事業者の負担額は寄附金額の概ね5割、町負担額(調達額)は寄附金額の4割 	企画財政課

(款) 2 総務費 (項) 1 総務管理費 (目) 7 企画費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課																														
<p>10 ふるさと納税推進事業費 (歳入歳出決算書 P.55)</p>	625	624,150	<p>「ふるさと納税促進事業」の更なる拡大のため、町内事業者等からの公募による「宇治田原町ふるさと特産品」を全国的なふるさと納税民間ポータルサイトを活用し発信することで、本町へのふるさと納税を推進するとともに、本町のPR強化を図った。</p> <p>〈内容〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 公募したふるさと特産品の更なるPRを図るため、ふるさと納税の民間ポータルサイト“ふるさとチョイス”へ情報を掲載、寄附金の受付を開始。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 平成29年1月1日よりふるさとチョイスでの寄附金受付 <p>〈寄附金額の推移〉</p> <table border="1" data-bbox="1102 703 1709 1038"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>件数</th> <th>金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>平成20年度</td><td>6件</td><td>210,000円</td></tr> <tr><td>平成21年度</td><td>1件</td><td>12,000円</td></tr> <tr><td>平成22年度</td><td>2件</td><td>40,000円</td></tr> <tr><td>平成23年度</td><td>1件</td><td>1,000,000円</td></tr> <tr><td>平成24年度</td><td>2件</td><td>104,147円</td></tr> <tr><td>平成25年度</td><td>2件</td><td>110,000円</td></tr> <tr><td>平成26年度</td><td>4件</td><td>175,000円</td></tr> <tr><td>平成27年度</td><td>19件</td><td>755,000円</td></tr> <tr><td>平成28年度</td><td>113件</td><td>2,444,000円</td></tr> </tbody> </table> <p>〈参考〉「ふるさとチョイス」</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 寄附申込件数がふるさと納税全体の84%(平成27年度実績)を占め、会員数が100万人を超える日本最大のふるさと納税の民間ポータルサイト。 	年度	件数	金額	平成20年度	6件	210,000円	平成21年度	1件	12,000円	平成22年度	2件	40,000円	平成23年度	1件	1,000,000円	平成24年度	2件	104,147円	平成25年度	2件	110,000円	平成26年度	4件	175,000円	平成27年度	19件	755,000円	平成28年度	113件	2,444,000円	企画財政課
年度	件数	金額																																
平成20年度	6件	210,000円																																
平成21年度	1件	12,000円																																
平成22年度	2件	40,000円																																
平成23年度	1件	1,000,000円																																
平成24年度	2件	104,147円																																
平成25年度	2件	110,000円																																
平成26年度	4件	175,000円																																
平成27年度	19件	755,000円																																
平成28年度	113件	2,444,000円																																

(款) 2 総務費 (項) 1 総務管理費 (目) 9 災害対策費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課
<p>1 情報伝達システム整備 事業費</p> <p>(歳入歳出決算書 P.57)</p>	<p>4,871</p>	<p>4,870,800</p>	<p>全国瞬時警報システム(J-ALERT)の情報を、小・中学校をはじめとする町内各公共施設に即座に情報伝達することができるI P告知システムを整備した。</p> <p>J-ALERTの音声情報は、役場に設置したI P告知送信機が自動起動することで、施設間ネットワークを通じて各公共施設のI P告知端末に接続、館内放送設備により一斉放送される。</p> <p>○設置拠点(6箇所) 役場、維孝館中学校、田原小学校、宇治田原小学校、保育所、総合文化センター</p>	<p>総務課</p>

(款) 2 総務費 (項) 1 総務管理費 (目) 9 災害対策費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課
2 自主防災組織支援事業費 (歳入歳出決算書 P.57)	2,500	1,671,720	各自主防災組織が実施する防災対策活動に対し補助金を交付するとともに、「自分たちの地域は自分たちで守る」という自覚と連帯感に基づき、各地区防災訓練への支援等を行った。 ○自主防災組織安心安全活動補助金の交付 自主防災組織が行う防災訓練活動や資機材・物資整備など防災対策活動に補助金を交付した。 9組織 1,365,000円 ○各地区自主防災訓練等(町総合防災訓練への参加含む) 高尾 平成28年 8月 7日、平成28年11月20日 郷之口 平成28年 5月29日、平成28年 6月12日 平成28年11月19日、平成28年11月20日 荒木 平成28年 5月29日、平成28年 6月19日 平成28年11月20日 南 平成28年11月20日 銘城台 平成28年 9月11日 岩山 平成28年 6月12日、平成28年11月20日 平成29年 1月15日 緑苑坂 平成28年11月20日 禅定寺 平成28年 7月17日、平成28年11月20日 立川 平成28年11月20日 湯屋谷 平成28年11月27日 奥山田 平成28年11月20日、平成29年 2月11日	総務課

(款) 2 総務費 (項) 1 総務管理費 (目) 9 災害対策費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課
3 キッズ防火隊支援事業費 (歳入歳出決算書 P. 57)	146	94,320	将来の地域防災を担う人材育成を図ることを目的に、各地区で組織化されているキッズ防火隊に対し、研修事業等を実施した。 ○ジュニア防災検定の実施 平成29年 1月29日 ○防災施設等への視察研修の実施 岩山キッズ防火隊 平成28年 7月26日 荒木キッズ防火隊 平成28年11月26日 緑苑坂キッズ防火隊 平成28年12月18日	総務課
5 災害時避難所物資整備事業費 (歳入歳出決算書 P. 57)	1,078	1,077,403	災害等に備え、避難場所に生活物資等の備蓄を行い、住民が安心して暮らすことができるまちづくりを推進した。 ○避難場所等に備蓄食糧、備蓄用飲料水、給水袋を補充した。 ・住民体育館 備蓄食糧 500食 ・住民体育館 備蓄用飲料水 360本 ・奥山田ふれあい交流館 備蓄用飲料水 144本 ・田原小学校 給水袋 210個 ・学校給食共同調理場 給水袋 990個 ○小型造水機定期保守点検	総務課

(款) 2 総務費 (項) 1 総務管理費 (目) 10 諸費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課																
<p>3 集会所等整備事業補助金 (歳入歳出決算書 P.57)</p>	17,000	16,167,000	<p>住民福祉の向上と自治振興に資するため、区及び自治会が行う集会所等の新築、増築、改築、修繕又は備品購入に要する経費に対して、町集会所等整備事業補助金交付要綱に基づき支援を行った。</p> <p>〈補助対象事業〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 集会所等の新築、増築、改築、修繕又は備品購入の事業は、用地の購入、造成及び取壊しに要する経費を除いた事業費総額が500,000円を超えるもの。 ○ ただし、緊急かつやむを得ない事情によるものを除き、当該年度を含む過去2年度間に交付を受けた集会所等に係る事業は対象としない。 <p>〈補助金の額及び限度額〉</p> <table border="1" data-bbox="1144 759 1870 927"> <thead> <tr> <th>実施内容</th> <th>補助率</th> <th>限度額</th> <th>(事業費ベース)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>増築・改築・修繕等</td> <td>1/2</td> <td>3,000</td> <td>(6,000)</td> </tr> <tr> <td>耐震化改修</td> <td>2/3</td> <td>6,000</td> <td>(9,000)</td> </tr> <tr> <td>新築 (H28拡充)</td> <td>1/2</td> <td>13,000</td> <td>(26,000)</td> </tr> </tbody> </table> <p>〈平成28年度の交付実績〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 南区公民館新築工事 13,000千円 ○ 荒木公民館基礎改修事業 269千円 ○ 奥山田会館トイレ改修事業 2,898千円 	実施内容	補助率	限度額	(事業費ベース)	増築・改築・修繕等	1/2	3,000	(6,000)	耐震化改修	2/3	6,000	(9,000)	新築 (H28拡充)	1/2	13,000	(26,000)	企画財政課
実施内容	補助率	限度額	(事業費ベース)																	
増築・改築・修繕等	1/2	3,000	(6,000)																	
耐震化改修	2/3	6,000	(9,000)																	
新築 (H28拡充)	1/2	13,000	(26,000)																	

(款) 2 総務費 (項) 1 総務管理費 (目) 10 諸費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課								
4 JR奈良線高速化・複線化事業費補助金 (歳入歳出決算書 P.57)	4,336	4,303,707	<p>J R奈良線の利便性向上による京都府南部地域の活性化を図るため、J R西日本が実施するJ R奈良線の高速化・複線化第二期事業に対して、京都府及び関係市町とともに支援を行った。</p> <p>〈事業実施主体〉 西日本旅客鉄道株式会社</p> <p>〈事業概要〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ J R 藤森～宇治、新田～城陽、山城多賀～玉水駅間(14.0km)の複線化 ・ 京都駅、六地蔵駅並びに棚倉駅の構内改良等 <p>〈平成28年度事業〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 京都駅等改良工事、複線化事業の構造設計等 <p>〈平成28年度本町負担額〉</p> <table border="1" data-bbox="1070 804 1619 940"> <tr> <td>総事業費…①</td> <td>369億円</td> </tr> <tr> <td>うち京都府負担額</td> <td>138億円</td> </tr> <tr> <td>うち関係市町負担額…②</td> <td>138億円</td> </tr> <tr> <td>うち西日本旅客鉄道(株)負担額</td> <td>93億円</td> </tr> </table> <p>→本町負担割合…③1.13%</p> <p>補助対象事業費…④ 1,000,000,000円</p> <p>→④1,000,000,000円×②138億円/①369億円×③1.13% ≒ 4,225,000円</p> <p>J R奈良線高速化・複線化第二期事業の工事着手を記念し、京都府、J R、関係市町及び関係市町の関係者で「J R奈良線高速化・複線化第二期事業起工記念式典」を開催した。</p> <p>日時：平成28年7月26日(火)10時～11時 場所：ホテルグランヴィア京都</p> <p>本町負担額：78,707円</p>	総事業費…①	369億円	うち京都府負担額	138億円	うち関係市町負担額…②	138億円	うち西日本旅客鉄道(株)負担額	93億円	建設環境課
総事業費…①	369億円											
うち京都府負担額	138億円											
うち関係市町負担額…②	138億円											
うち西日本旅客鉄道(株)負担額	93億円											

(款) 2 総務費 (項) 1 総務管理費 (目) 10 諸費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課
<p>6 バスICポイントサービス導入支援事業費 (歳入歳出決算書 P.57)</p>	<p>313</p>	<p>274,000</p>	<p>路線バス利用者の利便性の向上のためバス事業者が行うICポイントサービス導入に対して、京都府や沿線市町と協調して支援を行い、地域公共交通の確保・維持・改善を図った。</p> <p>〈事業主体〉 京都京阪バス(株)</p> <p>〈事業概要〉 事前に登録されたICOCAカードを使用して京都京阪バス(株)及び京阪グループバスに乗車した場合、利用額の10%がポイント(1ポイント=1円)として付与され、次回の利用時に運賃以上のポイントが積算されていれば、ポイントから優先的に自動精算されるシステムを導入した。</p> <p>〈補助金額〉 2,743,979円(補助対象事業費)×1/10=274,000円</p>	<p>建設環境課</p>

(款) 2 総務費 (項) 1 総務管理費 (目) 10 諸費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課
<p>7 コミュニティバス運行 支援事業費</p> <p>(歳入歳出決算書 P.57)</p>	<p>8,372</p>	<p>8,188,040</p>	<p>バス路線の廃止地域である奥山田・湯屋谷両区が運営するコミュニティバスの運行に対して、宇治田原町コミュニティバス運行管理補助金交付規則に基づき支援を行った。</p> <p>〈運行内容〉 平 日：20便／日(小学生スクールバス併用4便含む) 土・日・祝日：18便／日 360日運行</p> <p>〈利用者数〉 平成28年度 10,131人(前年度比2,546人) (推移) ⑰12,146人、⑱12,156人、⑲15,682人、⑳14,772人、 ㉑12,581人、㉒10,748人、㉓9,827人、㉔9,121人、 ㉕9,058人、㉖7,303人、㉗7,585人</p> <p>〈交付実績〉 平成28年度 4,459千円(前年度比△564千円) (参考) ⑰4,216千円、⑱4,469千円、⑲4,055千円、⑳4,266千円、 ㉑4,123千円、㉒4,497千円、㉓4,201千円、㉔4,101千円、 ㉕4,890千円、㉖5,049千円、㉗5,023千円</p> <p>現行のコミュニティバス車両の老朽化に伴い、コミュニティバスの車両更新を行った。</p> <p>〈更新車両〉 トヨタハイエースコンピューター(14人乗り)</p>	<p>建設環境課</p>

(款) 2 総務費 (項) 1 総務管理費 (目) 10 諸費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課
<p>8 生活交通ネットワーク構築事業費(繰越)</p> <p>(歳入歳出決算書 P.57)</p>	5,445	5,244,998	<p>本町の公共交通のあり方を検討するため、学識経験者、公共交通事業者、住民代表や関係団体等で組織する宇治田原町地域公共交通検討委員会を設置し、より便利で使いやすい生活交通ネットワークの構築を図った。</p> <p>〈宇治田原町地域公共交通検討委員会概要〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・委員数：14名 会長：井上 学(平安女学院大学准教授) ・会議概要 <ul style="list-style-type: none"> 第1回 平成28年8月30日(火) <ul style="list-style-type: none"> 議事①地域公共交通検討委員会について <ul style="list-style-type: none"> ②宇治田原町の現況(地域、交通)について ③アンケート調査について ④公共交通の事例紹介 第2回 平成28年11月29日(火) <ul style="list-style-type: none"> 議事①アンケート結果について <ul style="list-style-type: none"> ②宇治田原町における公共交通について 第3回 平成29年2月1日(水) <ul style="list-style-type: none"> 議事①現在のまちづくり及び公共交通に関する課題・問題について <ul style="list-style-type: none"> ②今後の公共交通の方向性及び方針(案)について 第4回 平成29年3月24日(金) <ul style="list-style-type: none"> 議事①宇治田原町における公共交通の方針について(案) ・アンケート調査について <ul style="list-style-type: none"> 対象者：町内に在住する方(中学生以上) 対象者数：1,400世帯 抽出方法：住基台帳より世帯主を無作為抽出 調査方法：郵送配布、郵送回収 調査時期：平成28年10月7日～21日 回収率：34.4%(482通) 有効回答者数：1,169人 	建設環境課

(款) 3 民生費 (項) 1 社会福祉費 (目) 1 社会福祉総務費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課
3 障がい者自立支援給付等事業費 (歳入歳出決算書 P. 65)	229,306	215,839,389	<p>障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律(障害者総合支援法)に基づき、障がい者が自立した日常生活・社会生活を営むことができるよう、必要となる各種障がい福祉サービス給付等の支援を実施した。</p> <p>1 障がい程度区分認定 〈認定調査14件、主治医意見書15件、審査会委託14件〉 421,940円</p> <p>2 自立支援給付(介護給付、訓練等給付)等 〈1,626件〉 195,765,807円</p> <p>3 自立支援医療給付 〈567件〉 7,308,938円</p> <p>4 障がい児通所給付 〈182件〉 7,120,488円</p> <p>5 補装具給付(額には町単費助成含む) 〈31件〉 2,640,813円</p> <p>6 障がい者福祉サービス等利用支援(国制度を上回る利用者負担軽減策を府・町が協調して実施) 〈293件〉 1,621,143円</p> <p>7 障がい者自立支援特別対策事業(法制度の円滑な運用を図るための臨時的な事業に要する経費を支援)等 357,620円</p> <p>8 その他(障がい福祉サービスシステム改正・保守委託料等) 602,640円</p>	福祉課

(款) 3 民生費 (項) 1 社会福祉費 (目) 1 社会福祉総務費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課
4 障がい者地域生活支援事業費 (歳入歳出決算書 P.65)	11,949	9,796,193	障がい者等が自立した日常生活または社会生活を営むことができるよう、地域の特性に応じた柔軟な事業形態による様々な事業を効率的・効果的に実施した。 1 障がい者生活支援センター委託 〈4事業所〉 2,144,000円 2 移動支援事業 〈24名、648時間利用〉 1,400,208円 3 日中一時支援事業 〈15名、2,857時間利用〉 2,786,250円 4 日常生活用具給付事業 〈288件〉 2,820,999円 5 訪問入浴サービス事業 〈46件〉 644,736円	福祉課

(款) 3 民生費 (項) 1 社会福祉費 (目) 1 社会福祉総務費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課
<p>5 障がい者のための交通支援事業費</p> <p>(歳入歳出決算書 P. 65)</p>	<p>3,091</p>	<p>2,809,957</p>	<p>1 福祉タクシー利用券助成 外出困難な障がい者に対し、タクシー料金及び自家用自動車の燃料代金の一部を助成することにより、障がい者の生活行動範囲の拡大及び社会参加の促進を図った。 〈対象者〉 (1) 視覚障がい…………… 1 級、2 級 下肢、体幹機能障がい…………… 1 級、2 級 心臓、じん臓、呼吸器、ぼうこう、直腸、 小腸、肝臓、免疫機能障がい…………… 1 級 (2) 療育手帳…………… A (3) じん臓機能障がい者で人工透析を受けている者 (障がい等級不問) (4) 障害児通所給付費受給者証の交付を受けている児童の保護者 〈利用券交付枚数〉 100円券120枚綴り1冊(12,000円分)を交付。ただし、(1)及び(3)に重複して該当する方には2冊(24,000円分)を交付。 ※平成19年度より町内給油所におけるガソリン券としても利用可としている。 〈平成28年度実績〉 ・140人に対し161冊(×12,000円=1,932,000円分)を交付 ・使用実績額 1,817,700円(交付額に対する使用率94.1%) (利用券印刷費 29,937円)</p> <p>2 障がい者施設通所交通費助成 公共交通機関を利用して施設に通所する方々に対し、町独自に交通費(障がい者割引を受けた場合は割引後の額)の2分の1を助成し、利用者の経済的負担の軽減を図った。 〈対象者〉 町内に在住する障がい者で、施設へ公共交通機関を利用して通所する者 〈平成28年度実績〉 ・上半期分 16人 516,960円 ・下半期分 14人 445,360円</p>	<p>福祉課</p>

(款) 3 民生費 (項) 1 社会福祉費 (目) 1 社会福祉総務費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課
<p>13 地域福祉計画策定事業費 (歳入歳出決算書 P. 65)</p>	<p>1,673</p>	<p>1,603,012</p>	<p>第1期計画の計画期間が平成28年度で終了することから、平成27年度から2ヵ年をかけ、平成29年度以降の本町の地域福祉を進めるための方向性を定める第2期計画を策定した。</p> <p>〈策定体制〉 ○ 宇治田原町地域福祉計画策定委員会 ・平成27年12月21日に設置。計画の策定にあたり協議を行う委員会として13人の委員で構成。 会長：朝田佳尚氏(京都府立大学 准教授)</p> <p>〈主な経過〉 H27年12月 第1回策定委員会 策定概要、アンケート調査の内容等について H28年1月 「計画策定に向けたアンケート調査」実施 ～2月 (18歳以上の町内在住者2,000人を対象) H28年3月 第2回策定委員会 アンケート結果、住民意識調査(ワークショップ開催)の概要について H28年8月 ワークショップ開催 計34人参加 H28年9月 第3回策定委員会 地域福祉における現状と課題、計画(第1期)の取組状況、地域福祉計画(第2期)の骨子(案)について H28年12月 第4回策定委員会 地域福祉計画(素案)、パブリックコメントについて H28年12月 計画素案に係るパブリックコメント実施 ～H29年1月 H29年3月 第5回策定委員会 地域福祉計画(案)、計画案に係る委員会からの提言について H29年3月 第2期計画策定</p>	<p>福祉課</p>

(款) 3 民生費 (項) 1 社会福祉費 (目) 1 社会福祉総務費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課
14 臨時福祉給付金事業費 (歳入歳出決算書 P. 65)	6,359	5,899,669	消費税率の引上げに際し、低所得者に与える負担の影響に鑑み、低所得者に対する適切な配慮を行うため、市町村が実施主体となり、暫定的・臨時的な給付措置として「臨時福祉給付金」を給付した。 〈給付対象者〉 ○平成28年度分の住民税(均等割)が課税されていない者。ただし、次の者を除く。 ・住民税(均等割)が課税されている者の扶養親族等 ・生活保護制度の被保護者 〈基準日〉 ○平成28年1月1日 〈給付額〉 ○対象者一人につき3,000円 〈給付実績〉 ○給付額計:3,549,000円 ○給付者数:1,183人	福祉課
15 年金生活者等支援臨時福祉給付金(障害・遺族年金)事業費 (歳入歳出決算書 P. 65)	3,172	2,906,623	賃金引上げの恩恵が及びにくい所得の少ない年金受給者の方を支援するため、市町村が実施主体となり、「障害・遺族基礎年金受給者向け給付金」を給付した。 〈給付対象者〉 ○平成28年度分臨時福祉給付金の支給対象者のうち、平成28年5月分の障害基礎年金や遺族基礎年金を受給している者。 〈給付額〉 ○対象者一人につき30,000円 〈給付実績〉 ○給付額計:1,080,000円 ○給付者数:36人	福祉課

(款) 3 民生費 (項) 1 社会福祉費 (目) 1 社会福祉総務費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課																						
23 子育て支援医療費支給事業費 (歳入歳出決算書 P.67)	27,101	25,969,884	<p>次代を担う子どもたちを健やかに産み育てる環境づくり及び子育て支援の一環として医療費を助成し、出生から中学校修了までの子どもの健康維持・増進を図るとともに、保護者の経済的負担の軽減を図った。(平成23年10月より町独自に中学生まで対象を拡大)</p> <p>平成24年9月診療分から、京都府制度(3,000円超外来)が小学校修了まで拡充、平成27年9月診療分からは中学校終了まで拡充された。</p> <p>平成28年度</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇子育て支援医療扶助費 <table style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>・府制度分</td> <td style="text-align: right;">25,117,559円</td> </tr> <tr> <td>・町制度分</td> <td style="text-align: right;">10,789,083円</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: right;">14,328,476円</td> </tr> </table> ◇子育て支援医療審査支払手数料 <table style="margin-left: 20px;"> <tr> <td></td> <td style="text-align: right;">852,325円</td> </tr> </table> ◇年度末受給者数 <table style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>・府制度のみ(満3歳未満)</td> <td style="text-align: right;">1,111人</td> </tr> <tr> <td>・府制度と町制度</td> <td style="text-align: right;">161人</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: right;">950人</td> </tr> </table> <p>平成27年度</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇子育て支援医療扶助費 <table style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>・府制度分</td> <td style="text-align: right;">23,399,821円</td> </tr> <tr> <td>・町制度分</td> <td style="text-align: right;">7,611,245円</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: right;">15,788,576円</td> </tr> </table> ◇子育て支援医療審査支払手数料 <table style="margin-left: 20px;"> <tr> <td></td> <td style="text-align: right;">895,759円</td> </tr> </table> 	・府制度分	25,117,559円	・町制度分	10,789,083円		14,328,476円		852,325円	・府制度のみ(満3歳未満)	1,111人	・府制度と町制度	161人		950人	・府制度分	23,399,821円	・町制度分	7,611,245円		15,788,576円		895,759円	介護医療課
・府制度分	25,117,559円																									
・町制度分	10,789,083円																									
	14,328,476円																									
	852,325円																									
・府制度のみ(満3歳未満)	1,111人																									
・府制度と町制度	161人																									
	950人																									
・府制度分	23,399,821円																									
・町制度分	7,611,245円																									
	15,788,576円																									
	895,759円																									

(款) 3 民生費 (項) 1 社会福祉費 (目) 1 社会福祉総務費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課																		
31 療育教室運営事業費 (歳入歳出決算書 P.67)	2,233	2,224,523	<p>集団生活に適応困難な発達に課題を持つ児を対象に、発達課題に応じた適切な指導を行い、二次障がい未然に防止するため、療育教室を運営し、発達支援と児童福祉の向上を図ることを目的として年38回療育教室を実施した。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>実人数</td> <td>7人</td> <td>6人</td> <td>4人</td> <td>5人</td> <td>7人</td> </tr> <tr> <td>延べ人数</td> <td>151人</td> <td>155人</td> <td>129人</td> <td>156人</td> <td>139人</td> </tr> </tbody> </table>		H24	H25	H26	H27	H28	実人数	7人	6人	4人	5人	7人	延べ人数	151人	155人	129人	156人	139人	健康児童課
	H24	H25	H26	H27	H28																	
実人数	7人	6人	4人	5人	7人																	
延べ人数	151人	155人	129人	156人	139人																	
32 ペアレント・トレーニング事業費 (歳入歳出決算書 P.67)	98	97,010	<p>発達障がいを持った子どもの療育には、保護者を最良の療育者とみなして子どもの行動の分析や関わり方などの技術を訓練するペアレント・トレーニングの有効性が確認されている。発達に課題を持つ子どもの保護者に対してペアレント・トレーニングを実施し、保護者の精神的健康や育児スキルの向上、子どもの二次障がい予防などを目指した。療育教室の後期(10月から3月)に全6回で実施した。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H28</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>実人数</td> <td>6人</td> </tr> <tr> <td>延べ人数</td> <td>27人</td> </tr> </tbody> </table>		H28	実人数	6人	延べ人数	27人	健康児童課												
	H28																					
実人数	6人																					
延べ人数	27人																					

(款) 3 民生費 (項) 1 社会福祉費 (目) 1 社会福祉総務費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課																								
33 不妊治療給付事業費 (歳入歳出決算書 P. 65)	586	265, 441	子を希望しながらも恵まれないため、不妊治療等（一般不妊治療、男性不妊治療）を受けている夫婦等に対して、その治療に要する費用の一部を助成した。※男性不妊治療、不育治療の助成はH27～実施 <助成申請者数> (延べ人数) <table border="1" data-bbox="1070 486 1780 622"> <thead> <tr> <th></th> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般不妊治療</td> <td>22人</td> <td>12人</td> <td>12人</td> <td>9人</td> <td>17人</td> </tr> <tr> <td>男性不妊治療</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>0人</td> <td>0人</td> </tr> <tr> <td>不育治療</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1人</td> <td>0人</td> </tr> </tbody> </table>		H24	H25	H26	H27	H28	一般不妊治療	22人	12人	12人	9人	17人	男性不妊治療				0人	0人	不育治療				1人	0人	健康児童課
	H24	H25	H26	H27	H28																							
一般不妊治療	22人	12人	12人	9人	17人																							
男性不妊治療				0人	0人																							
不育治療				1人	0人																							
35 福祉バス運行事業費 (歳入歳出決算書 P. 67)	10, 971	10, 968, 402	高齢者及び障がい者等の日常的な交通手段を確保するため、福祉バスを運行した。 <利用対象者> ・概ね65歳以上の者 ・障がい者等で歩行等による移動が困難な者 ・妊婦 ・小学校就学前の子どもと同乗する保護者等及びその子ども ・上記以外の者で運転手が認める者 <運行日> ・月曜日から金曜日（祝日、8/14～16、12/28～1/4を除く） <運行経路及び運行便数> ①禅定寺～銘城台（11便/日）②立川～銘城台（13便/日） ③高尾（6便/日・週2回） <利用者数> 平成28年度 15, 462人（前年度比539人） ⑱11, 764人、⑳15, 089人、㉑14, 973人、㉒14, 856人、 ㉓15, 576人、㉔14, 011人、㉕12, 630人、㉖14, 253人、 ㉗14, 923人 <有料広告掲載料収入> 車内広告18, 000円	建設環境課																								

(款) 3 民生費 (項) 1 社会福祉費 (目) 1 社会福祉総務費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課
37 年金生活者等支援臨時福祉給付金事業費(繰越) (歳入歳出決算書 P.67)	31,872	26,515,992	賃金引上げの恩恵が及びにくい所得の少ない年金受給者の方を支援するため、市町村が実施主体となり、「年金生活者等支援臨時福祉給付金」を給付した。 <給付対象者> ○平成27年度分臨時福祉給付金の支給対象者のうち、平成28年度中に65歳以上となる者。 <給付額> ○対象者一人につき30,000円 <給付実績> ○給付額計：22,650,000円 ○給付者数：755人	福祉課

(款) 3 民生費 (項) 1 社会福祉費 (目) 2 老人福祉費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課																														
8 シルバー人材センター 運営補助事業費 (歳入歳出決算書 P.67)	7,614	5,414,000	<p>高齢者に就業機会を確保・提供し、高齢者の生きがいの充実、社会参加の促進を図り、その能力を活かした活力ある地域社会づくりを目的に設立されたシルバー人材センターの運営に対して補助を行い、センターの円滑な運営を促進した。</p> <p>〈平成28年度の受託状況等〉</p> <table border="1" data-bbox="1108 470 1736 646"> <thead> <tr> <th></th> <th>受託件数</th> <th>受託金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・行政関係</td> <td>207件</td> <td>17,779,883円</td> </tr> <tr> <td>・民間企業</td> <td>352件</td> <td>19,679,720円</td> </tr> <tr> <td>・一般家庭</td> <td>152件</td> <td>3,022,220円</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>711件</td> <td>40,481,823円</td> </tr> </tbody> </table> <p>就業延べ人数：8,231人 会員数：111人(平成29年3月末現在)</p> <p>〈平成27年度の受託状況等〉</p> <table border="1" data-bbox="1108 821 1736 997"> <thead> <tr> <th></th> <th>受託件数</th> <th>受託金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・行政関係</td> <td>212件</td> <td>17,481,707円</td> </tr> <tr> <td>・民間企業</td> <td>342件</td> <td>18,877,708円</td> </tr> <tr> <td>・一般家庭</td> <td>147件</td> <td>2,760,873円</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>701件</td> <td>39,120,288円</td> </tr> </tbody> </table> <p>就業延べ人数：7,780人 会員数：116人(平成28年3月末現在)</p>		受託件数	受託金額	・行政関係	207件	17,779,883円	・民間企業	352件	19,679,720円	・一般家庭	152件	3,022,220円	計	711件	40,481,823円		受託件数	受託金額	・行政関係	212件	17,481,707円	・民間企業	342件	18,877,708円	・一般家庭	147件	2,760,873円	計	701件	39,120,288円	介護医療課
	受託件数	受託金額																																
・行政関係	207件	17,779,883円																																
・民間企業	352件	19,679,720円																																
・一般家庭	152件	3,022,220円																																
計	711件	40,481,823円																																
	受託件数	受託金額																																
・行政関係	212件	17,481,707円																																
・民間企業	342件	18,877,708円																																
・一般家庭	147件	2,760,873円																																
計	701件	39,120,288円																																

(款) 3 民生費 (項) 1 社会福祉費 (目) 2 老人福祉費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課
10 認知症カフェ事業費 (歳入歳出決算書 P.67)	997	950,435	認知症の方やその家族、地域の方などが自由に立ち寄れる場所として認知症カフェ(愛茶カフェ)を4カ所で開催した。その中で、認知症の簡単な講座や教室、レクリエーションや制作などを提供するとともに、参加者がお茶を飲みながら、介護関係者や地域の方との交流や相談ができる場所を提供した。 【利用者数】 愛茶カフェ ころ柿(みんなの家) 153人 やすらぎ(やすらぎ荘) 203人 にりんそう(南地内) 144人 フリージア(銘城台地内) 116人 計 616人	介護医療課

(款) 3 民生費 (項) 1 社会福祉費 (目) 2 老人福祉費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課																																																												
12 高齢者福祉サービス事業費 (歳入歳出決算書 P. 67)	8,347	7,969,212	要介護高齢者及び一人暮らし高齢者並びにその家族に対し、自立と生活の質の確保を図ることを目的に各種生活支援サービスを提供した。 平成28年度 <table border="1" data-bbox="1102 453 1917 788"> <thead> <tr> <th>事業名</th> <th>件数等</th> <th>金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>緊急通報装置貸与事業</td> <td>43台</td> <td>470,982円</td> </tr> <tr> <td>移送サービス事業</td> <td>142件</td> <td>500,000円</td> </tr> <tr> <td>食の自立支援事業(長楽会)</td> <td>7,161食</td> <td>3,079,230円</td> </tr> <tr> <td>食の自立支援事業(社協)</td> <td>587食</td> <td>499,000円</td> </tr> <tr> <td>食の自立支援事業(シルバー配食)</td> <td>310回</td> <td>2,158,800円</td> </tr> <tr> <td>心配ごと相談事業</td> <td>4件</td> <td>50,000円</td> </tr> <tr> <td>介護用品購入助成事業</td> <td>136件</td> <td>660,600円</td> </tr> <tr> <td>住環境改善事業</td> <td>7件</td> <td>550,600円</td> </tr> <tr> <td>住宅用火災警報器設置事業</td> <td>0件</td> <td>0円</td> </tr> </tbody> </table> 平成27年度 <table border="1" data-bbox="1102 855 1917 1190"> <thead> <tr> <th>事業名</th> <th>件数等</th> <th>金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>緊急通報装置貸与事業</td> <td>52台</td> <td>533,669円</td> </tr> <tr> <td>移送サービス事業</td> <td>135件</td> <td>500,000円</td> </tr> <tr> <td>食の自立支援事業(長楽会)</td> <td>7,547食</td> <td>3,275,310円</td> </tr> <tr> <td>食の自立支援事業(社協)</td> <td>548食</td> <td>498,000円</td> </tr> <tr> <td>食の自立支援事業(シルバー配食)</td> <td>308回</td> <td>2,062,800円</td> </tr> <tr> <td>心配ごと相談事業</td> <td>7件</td> <td>50,000円</td> </tr> <tr> <td>介護用品購入助成事業</td> <td>151件</td> <td>746,800円</td> </tr> <tr> <td>住環境改善事業</td> <td>2件</td> <td>320,000円</td> </tr> <tr> <td>住宅用火災警報器設置事業</td> <td>1件</td> <td>7,500円</td> </tr> </tbody> </table>	事業名	件数等	金額	緊急通報装置貸与事業	43台	470,982円	移送サービス事業	142件	500,000円	食の自立支援事業(長楽会)	7,161食	3,079,230円	食の自立支援事業(社協)	587食	499,000円	食の自立支援事業(シルバー配食)	310回	2,158,800円	心配ごと相談事業	4件	50,000円	介護用品購入助成事業	136件	660,600円	住環境改善事業	7件	550,600円	住宅用火災警報器設置事業	0件	0円	事業名	件数等	金額	緊急通報装置貸与事業	52台	533,669円	移送サービス事業	135件	500,000円	食の自立支援事業(長楽会)	7,547食	3,275,310円	食の自立支援事業(社協)	548食	498,000円	食の自立支援事業(シルバー配食)	308回	2,062,800円	心配ごと相談事業	7件	50,000円	介護用品購入助成事業	151件	746,800円	住環境改善事業	2件	320,000円	住宅用火災警報器設置事業	1件	7,500円	介護医療課
事業名	件数等	金額																																																														
緊急通報装置貸与事業	43台	470,982円																																																														
移送サービス事業	142件	500,000円																																																														
食の自立支援事業(長楽会)	7,161食	3,079,230円																																																														
食の自立支援事業(社協)	587食	499,000円																																																														
食の自立支援事業(シルバー配食)	310回	2,158,800円																																																														
心配ごと相談事業	4件	50,000円																																																														
介護用品購入助成事業	136件	660,600円																																																														
住環境改善事業	7件	550,600円																																																														
住宅用火災警報器設置事業	0件	0円																																																														
事業名	件数等	金額																																																														
緊急通報装置貸与事業	52台	533,669円																																																														
移送サービス事業	135件	500,000円																																																														
食の自立支援事業(長楽会)	7,547食	3,275,310円																																																														
食の自立支援事業(社協)	548食	498,000円																																																														
食の自立支援事業(シルバー配食)	308回	2,062,800円																																																														
心配ごと相談事業	7件	50,000円																																																														
介護用品購入助成事業	151件	746,800円																																																														
住環境改善事業	2件	320,000円																																																														
住宅用火災警報器設置事業	1件	7,500円																																																														

(款) 3 民生費 (項) 2 児童福祉費 (目) 1 児童福祉総務費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課
<p>2 少子化対策推進事業費</p> <p>(歳入歳出決算書 P.69)</p>	971	784,328	<p>宇治田原町子ども・子育て支援事業計画の基本理念に基づき、宇治田原町における少子化の進行、人口減少の抑制を図り、子育てしやすいまちを目指した効果的な少子化対策事業を企画立案するため、宇治田原町少子化対策プロジェクトチームを組織し、少子化対策に係る町内、関係期間及び関係団体との調整や、それら関係機関等と連携した、少子化対策事業を推進した。</p> <p>○少子化対策プロジェクトチーム 平成27年度に引き続きプロジェクトチームでの協議を実施。年間に人材交流事業以外で3回の会議を実施</p> <p>○町職員と町内企業社員間の若手の人材交流事業 町内企業9社より9名の社員と、少子化対策プロジェクトチームメンバーで3回の人材交流事業を実施</p> <p>○ポジティブキャンペーン 町広報紙に4回、「家族っていいなあ」コーナーにおいて、結婚・子育てに対し前向きな意識をもてるよう記事掲載。</p> <p>○婚活応援講演会 「コンカツ」という言葉の生みの親、白河桃子氏を招き、婚活当事者、その親、支援者向けの講演会を実施。 ・開催日時：平成29年3月11日(土)午後2時～3時15分 ・開催場所：宇治田原町総合文化センター研修室1 ・参加者数：72名</p> <p>○補助金交付 婚活イベント実施団体に対する補助金交付 (1団体 300千円)</p>	健康児童課

(款) 3 民生費 (項) 2 児童福祉費 (目) 1 児童福祉総務費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課								
<p>3 育児用品購入助成事業費 (歳入歳出決算書 P.69)</p>	1,780	1,179,378	<p>乳児の子育てに係る保護者の経済的負担を軽減し、安心して子育てができる環境づくりを推進することを目的として、町内で購入したおむつ等育児用品の購入費用を助成した。</p> <p><対象者> 1歳未満の子どもを扶養している保護者</p> <p><助成内容> ・おむつ関連用品(紙おむつ等) ・授乳関連用品(粉ミルク等) ・その他の育児用品(離乳食容器等)</p> <p><助成金額> 1回上限2万円</p> <p><事業周知の方法> ○条件を満たす方への個別通知、出生・転入等の手続き時に個別に窓口での案内、HP・町広報紙・宇治田原町就学までの「子育て支援のしおり」への掲載等により本事業の周知を行った。 ○申請期限が近い対象者へは、個別に電話や窓口来庁時に、申請案内を行った。</p> <p><事業実績></p> <table border="1" data-bbox="1070 1053 1550 1289"> <thead> <tr> <th></th> <th>H28</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>保護者数</td> <td>58人</td> </tr> <tr> <td>児童者数</td> <td>59人</td> </tr> <tr> <td>助成金額</td> <td>1,179,378円</td> </tr> </tbody> </table>		H28	保護者数	58人	児童者数	59人	助成金額	1,179,378円	健康児童課
	H28											
保護者数	58人											
児童者数	59人											
助成金額	1,179,378円											

(款) 3 民生費 (項) 2 児童福祉費 (目) 1 児童福祉総務費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課									
<p>4 出産・子育てイベント スタンプラリー事業費</p> <p>(歳入歳出決算書 P.69)</p>	485	319,929	<p>町の主催する出産・子育てのイベントへの参加向上を目的とし、スタンプラリーを実施した。</p> <p><対象者></p> <ul style="list-style-type: none"> ・妊婦及び今後出産を希望される方 ・乳幼児(0歳～就学前まで) ・小学生(2年生まで) <p><対象事業></p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域子育て支援センター事業 (各種広場、子育て講座、パパの子育て応援事業等) ・保健センター事業 (乳児健診、離乳食教室) ・教育委員会関係事業 (図書館おはなし会、さざんかホール主催事業、子ども文化体験教室、ALTとの国際交流、お茶の里宇治田原マラソン) <p><景品を渡した数(延べ数)> H28年5月～H29年3月</p> <table border="0"> <tr> <td>・ガーゼハンカチ</td> <td>50個</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・缶バッジ</td> <td>19個</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・チャック付ファイル</td> <td>14個</td> <td>計 83個</td> </tr> </table>	・ガーゼハンカチ	50個		・缶バッジ	19個		・チャック付ファイル	14個	計 83個	健康児童課
・ガーゼハンカチ	50個												
・缶バッジ	19個												
・チャック付ファイル	14個	計 83個											

(款) 3 民生費 (項) 2 児童福祉費 (目) 1 児童福祉総務費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課								
5 いきいき孫育て事業費 (歳入歳出決算書 P.69)	250	203,127	<p>昔からの子育て文化を大切にしつつ、変化し続ける子育て環境や育児技術を祖父母世代に知ってもらい、親世代の子育てを応援してもらう狙いで実施した。</p> <p><対象者></p> <ul style="list-style-type: none"> ・町内在住の祖父母世代、子育て中の親世代 ・老人クラブ、「みんなの家」スタッフ等 <p><周知方法></p> <ul style="list-style-type: none"> ・広報紙に挟み込み(4月) ・年6回おたより発行(4月、6月、8月、10月、12月、2月) ・行事毎にチラシ発行 ・HP、地域子育て支援センター活動記録ブログに掲載 <table border="1" data-bbox="1102 821 1433 1053"> <tr> <td></td> <td>H28</td> </tr> <tr> <td>実施回数</td> <td>18回</td> </tr> <tr> <td>参加延人数</td> <td>312人</td> </tr> <tr> <td>うち祖父母参加</td> <td>107人</td> </tr> </table>		H28	実施回数	18回	参加延人数	312人	うち祖父母参加	107人	健康児童課
	H28											
実施回数	18回											
参加延人数	312人											
うち祖父母参加	107人											

(款) 3 民生費 (項) 2 児童福祉費 (目) 1 児童福祉総務費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課
<p>7 子育てサービス利用支援事業費 (歳入歳出決算書 P.69)</p>	880	871,052	<p>平成27年度から導入された「子ども・子育て支援新制度」において、地域子ども・子育て支援事業に位置付けられた利用者支援事業として実施。専任職員を配置して、教育分野も含めた子ども・子育てに係る幅広い情報収集や提言を行い、教育・保育施設の利用にあたっての助言・利用支援を行った。</p> <p>地域子育て支援センター事業と連携し、関係機関との連絡・調整や地域の子育て資源の育成など一体的に運営し、子育て家庭支援の機能強化を図るよう取り組んだ。</p> <p><事業内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・庁内の子育て支援情報収集 ・子育て支援情報誌「子育て支援のしおり」(乳幼児家庭用)の更新 ・リーフレット「小学生から高校生までの子育て支援」の更新 ・事業の周知のためのチラシ配布 ・子育てサークル支援 ・「子育てだより」発行 (保育所・役場・保健センター・スーパー・図書館に配架) ・関係機関との連携(乳児健診時でのPR等、関係機関との連携) <p><相談内訳></p> <ul style="list-style-type: none"> ・子育て 11件 ・発達 5件 ・保育施設 2件 ・病気(体調) 2件 ・制度 4件 ・その他 8件 <p style="text-align: right;">計32件</p>	健康児童課

(款) 3 民生費 (項) 2 児童福祉費 (目) 1 児童福祉総務費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課
16 児童遊園整備等事業費 (歳入歳出決算書 P.69)	4,711	3,730,256	児童遊園の遊具について、事故等から子供たちを守るため安全管理の保守点検とともに、修繕が必要な遊具は適切に修繕工事を行った。 また、児童遊園の定期的な整備を行った。 【設置工事等】 ・児童遊園遊具設置工事(郷之口・立川・岩山) 3,194,576円 【保守点検】 ・保守点検委託(児童遊園24か所) 275,940円 【修繕】 ・尾華児童遊園ほか 259,740円	建設環境課
18 子ども・子育て支援新制度電子システム改修事業費(繰越) (歳入歳出決算書 P.69)	1,998	1,998,000	子ども・子育て支援新制度において、幼児教育無償化を目指す中、新制度に対応した保育料の算出等のため、システム改修を国からの補助を受け実施した。 【経過】 H27年度に交付申請(ただし事業実施はH28年度)、(株)ケーケーシー情報システムと契約締結 明許繰越手続きを経て、H28年度でシステム改修実施 【実施内容】 保育所及び健康児童課の既存システムを、新制度に対応できるよう改修。H28年8月31日に事業完了。	健康児童課

(款) 3 民生費 (項) 2 児童福祉費 (目) 1 児童福祉総務費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課
19 地域子育て支援センター拡張移設事業費 (歳入歳出決算書 P.69)	11,242	11,166,375	<p>地域子育て支援センターは平成14年の開設当初から町立保育所の一角で実施してきたが、事務スペースと1室であることから狭く、また相談希望の保護者が他者の目を気にして相談しづらい等の問題点があった。そこで旧町立診療所を改修し移転することとし、改修・移設に必要な工事等を実施した。</p> <p>【事業概要】 1階診察室等を子育て支援センター室に改修 プレイルーム、タイルカーペット敷き、子ども用手洗い新設等</p> <p>【開設日】 平成28年10月27日(木)</p> <p>【主な事業内訳】 設計委託 1,221千円 工事請負費 7,298千円 備品購入費 691千円 需用費 1,467千円 その他 490千円</p>	健康児童課

(款) 3 民生費 (項) 2 児童福祉費 (目) 2 児童福祉施設費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課
<p>3 病児・病後児保育事業費 (歳入歳出決算書 P.71)</p>	<p>1,254</p>	<p>1,119,327</p>	<p>子育て世帯の負担軽減を目的とし、病児・病後児型及び体調不良児型の病後児保育事業を実施した。</p> <p>【病児・病後児型】 <事業内容> 田辺中央病院（医療法人社団石鎚会）の病児保育所「やすらぎ保育園」の宇治田原町住民も利用可能となった。（6月事業実施） 事業実施にあたっては、京田辺市・井手町・本町・（医）石鎚会の4者で委託契約を締結、また費用負担については京田辺市・井手町・本町の3者で協定書を締結した。</p> <p><実績> 利用延べ人数 8人（利用理由は就労7人、その他1人） 負担金額 187千円</p> <p>【体調不良児型】 <事業内容> 町立保育所に通所中の児が、保育中に体調不良に陥った際に保護者のお迎えまでの間、専用の部屋で看護師が看護を行った。10月より実施。 従前支援センターとして使用していた部分を改修し、開設に係り備品等を整備。また看護師の人件費も事業費用に含む。</p> <p><実績> 10月27日からの実施で利用延べ人数283人 《内訳》発熱 73人 嘔吐・下痢 17人 怪我 97人 その他 96人</p>	<p>健康児童課</p>

(款) 3 民生費 (項) 2 児童福祉費 (目) 2 児童福祉施設費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課
4 もうすぐ1年生保育所 体育教室実施事業費 (歳入歳出決算書 P.71)	173	172,800	<p>本町だからこそできるきめ細やかで手厚い保育の推進を目的として、町立保育所に通所する児童を対象に、体育指導の専門家による指導を行った。</p> <p><事業内容> ◇体育指導の専門家による体育教室の実施 5・6月、10・11月、1・2月の月2回 年間12回 対象：5歳児 内容：マット運動・器具運動（跳箱・鉄棒）・縄遊び・ボール運動 等</p> <p><成果> 体育指導の専門家による楽しい体育遊びを通じて、運動能力を体得し、就学後の体育の授業へのスムーズな移行を図ることができた。</p>	健康児童課

(款) 3 民生費 (項) 2 児童福祉費 (目) 2 児童福祉施設費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課
9 一時保育施設等整備事業費 (歳入歳出決算書 P.71)	2,041	2,026,080	<p> 保育所ホールの一部を利用して実施している一時保育について、今後の短時間就労や就労であっても幼児教育を希望する場合など、多様な保護者のニーズ等に適切に対応できるよう、専用の一時保育室を確保し、また、近年ニーズが高まっている年度途中の乳児の受入に対応するため、保育所の敷地内に保育園舎を増築するものであり、平成28年度においては建物設計委託業務を実施した。 </p> <p> ○保育所敷地内での園舎増築設計費用等 木造平屋建て(130㎡程度) 一時保育室(定員10名)、通常保育室にも活用可能なフリールーム 乳幼児用トイレ・収納スペースの設置 平成29年9月末 施設完成予定 </p>	健康児童課

(款) 4 衛生費 (項) 1 保健衛生費 (目) 1 保健衛生総務費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課						
2 授乳育児相談事業費 (歳入歳出決算書 P.71)	164	97,328	<p>出産直後から始まる授乳は昼夜問わず一日に何度も必要であり、様々なトラブルが起こりやすいことから、授乳育児について悩みを抱えたり負担を感じる母が多い。マタニティブルーの防止や乳幼児と保護者の健康増進を目的として、助産師による授乳育児相談を実施した。</p> <p><実施内容> 個別相談：月に1回2枠の相談を実施（予約制）。 集団指導：乳幼児健診（年6回）内で集団指導として実施。</p> <p><実績> 延べ人数</p> <table border="1" data-bbox="1102 686 1433 790"> <tr> <td></td> <td>H28</td> </tr> <tr> <td>個別相談</td> <td>16人</td> </tr> <tr> <td>集団指導</td> <td>58人</td> </tr> </table>		H28	個別相談	16人	集団指導	58人	健康児童課
	H28									
個別相談	16人									
集団指導	58人									

(款) 4 衛生費 (項) 1 保健衛生費 (目) 1 保健衛生総務費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課																								
3 ハッピー・マタニティ 支援事業費 (歳入歳出決算書 P.71)	6,108	4,416,020	<p>妊娠時における妊婦健康診査の費用を助成することで、妊娠・出産に係る費用負担の軽減等を図り、安心して妊娠・出産できる環境づくりに取り組んだ。</p> <p>〈助成内容〉 妊婦に必要とされる健診等が受けられる受診券を支給 受診できる主な検査項目等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基本健診（問診、診察等） 14回 ・血液検査 4回 ・免疫検査 1回 ・子宮頸がん検査 1回 ・B群溶血性レンサ球菌検査 1回 ・H I V抗体価検査 1回 ・超音波検査 4回 ・H T L V－1抗体検査 1回 ・クラミジア検査 1回 <p>〈実績〉</p> <table border="1" data-bbox="1070 986 1825 1157"> <thead> <tr> <th></th> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>妊娠届出数</td> <td>78人</td> <td>61人</td> <td>53人</td> <td>61人</td> <td>50人</td> </tr> <tr> <td>母子手帳交付数</td> <td>77人</td> <td>61人</td> <td>54人</td> <td>61人</td> <td>50人</td> </tr> <tr> <td>ハッピーマタニティ 事業申請者数</td> <td>82人</td> <td>62人</td> <td>61人</td> <td>67人</td> <td>51人</td> </tr> </tbody> </table>		H24	H25	H26	H27	H28	妊娠届出数	78人	61人	53人	61人	50人	母子手帳交付数	77人	61人	54人	61人	50人	ハッピーマタニティ 事業申請者数	82人	62人	61人	67人	51人	健康児童課
	H24	H25	H26	H27	H28																							
妊娠届出数	78人	61人	53人	61人	50人																							
母子手帳交付数	77人	61人	54人	61人	50人																							
ハッピーマタニティ 事業申請者数	82人	62人	61人	67人	51人																							

(款) 4 衛生費 (項) 1 保健衛生費 (目) 1 保健衛生総務費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果					担当課	
4 母子保健事業費 (歳入歳出決算書 P.73)	3,340	3,015,241	母性並びに乳幼児の健康の保持増進を図るため、保健指導及び健康診査等を実施した。 <マタニティ事業>					健康児童課	
				H24	H25	H26	H27		H28
			母子健康手帳交付数	77件	61件	54件	61件		50件
			ハイリスク妊婦訪問	/	15件	6件	9件		4件
			ハイリスク妊婦相談	/	2件	20件	33件		17件
			<新生児訪問>						
				H24	H25	H26	H27		H28
			出生届出数	62件	73件	60件	54件		53件
			訪問児数	56人	69人	56人	51人		48人
			訪問実施率	90.3%	94.5%	93.3%	94.4%		90.6%
			<乳幼児健康診査事業>						
				H24	H25	H26	H27		H28
			乳幼児健康診査	58件	73件	55件	49件		58件
			幼児健康診査	64件	63件	69件	61件		49件
			2歳児歯科健康診査	61件	70件	62件	67件		57件
			三歳児健康診査	64件	57件	77件	64件		64件
			<乳幼児相談事業>						
				H24	H25	H26	H27		H28
			乳児後期健康相談	61件	65件	64件	52件		53件
			乳幼児健康相談	—	—	14件	11件		18件
			発達相談	37件	48件	38件	43件	32件	
			<訪問指導> (妊産婦、新生児、未熟児、幼児含む)						
				H24	H25	H26	H27	H28	
			訪問件数	157件	244件	247件	199件	188件	
			<離乳食教室>						
				H24	H25	H26	H27	H28	
			離乳食教室	22件	21件	18件	9件	20件	

(款) 4 衛生費 (項) 1 保健衛生費 (目) 1 保健衛生総務費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課
6 コツコツ骨を強くしま しょう事業費 (歳入歳出決算書 P.73)	479	357,113	骨粗しょう症予防のために日常生活習慣の改善を促し、健康 づくりの推進を図るため、骨密度の低下を早期に発見する骨粗 しょう症検診及び骨粗しょう症予防に関する講習を実施した。 〈内容〉 ・骨粗しょう症検診 対象 : 20歳以上の女性 住民がん検診の際に実施(3日間) 受診者: 225人 ・骨粗しょう症予防に関する講習等を実施した。	健康児童課

(款) 4 衛生費 (項) 1 保健衛生費 (目) 1 保健衛生総務費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課																																										
<p>9 各種がん検診事業費</p> <p>(歳入歳出決算書 P.73)</p>	8,293	6,286,404	<p>死亡原因の第1位の「悪性新生物(がん)」の早期発見・早期治療を目的に、健康増進法に基づき各種がん検診を実施した。</p> <p>〈実施期間〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・肺がん検診、結核検診、胃がん検診、大腸がん検診 (集団) 平成28年12月21日・26日 ・乳がん検診 (集団) 平成29年1月10日・11日・12日 ・子宮がん検診 (個別) 平成28年11月～2月 <p>【対象者】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・肺がん、胃がん検診、大腸がん検診 40歳以上の男女 ・子宮頸がん検診 20歳以上の女性 ・乳がん検診 40歳以上の女性 ・前立腺がん検診 55歳以上の男性 <p>【実績】受診人数(受診率：%)</p> <table border="1" data-bbox="1070 943 1895 1337"> <thead> <tr> <th></th> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>胃がん</td> <td>225人 (8.5)</td> <td>238人 (9.0)</td> <td>176人 (6.6)</td> <td>258人 (4.9)</td> <td>213人 (7.1)</td> </tr> <tr> <td>肺がん</td> <td>314人 (11.8)</td> <td>309人 (11.6)</td> <td>250人 (9.4)</td> <td>386人 (7.2)</td> <td>311人 (5.2)</td> </tr> <tr> <td>大腸がん</td> <td>308人 (15.2)</td> <td>318人 (12.0)</td> <td>259人 (9.7)</td> <td>350人 (6.1)</td> <td>360人 (6.3)</td> </tr> <tr> <td>子宮がん</td> <td>224人 (12.4)</td> <td>164人 (15.8)</td> <td>93人 (9.0)</td> <td>241人 (12.6)</td> <td>271人 (16.5)</td> </tr> <tr> <td>乳がん</td> <td>171人 (12.3)</td> <td>159人 (18.6)</td> <td>95人 (11.1)</td> <td>262人 (15.1)</td> <td>258人 (20.7)</td> </tr> <tr> <td>前立腺がん</td> <td></td> <td></td> <td>156人 (16.9)</td> <td>124人 (11.6)</td> <td>137人 (7.5)</td> </tr> </tbody> </table> <p>※平成27年度分よりがん検診受診率の算出方法が変更。前立腺がんについても平成28年度分より検診受診率の算出方法が変更</p>		H24	H25	H26	H27	H28	胃がん	225人 (8.5)	238人 (9.0)	176人 (6.6)	258人 (4.9)	213人 (7.1)	肺がん	314人 (11.8)	309人 (11.6)	250人 (9.4)	386人 (7.2)	311人 (5.2)	大腸がん	308人 (15.2)	318人 (12.0)	259人 (9.7)	350人 (6.1)	360人 (6.3)	子宮がん	224人 (12.4)	164人 (15.8)	93人 (9.0)	241人 (12.6)	271人 (16.5)	乳がん	171人 (12.3)	159人 (18.6)	95人 (11.1)	262人 (15.1)	258人 (20.7)	前立腺がん			156人 (16.9)	124人 (11.6)	137人 (7.5)	健康児童課
	H24	H25	H26	H27	H28																																									
胃がん	225人 (8.5)	238人 (9.0)	176人 (6.6)	258人 (4.9)	213人 (7.1)																																									
肺がん	314人 (11.8)	309人 (11.6)	250人 (9.4)	386人 (7.2)	311人 (5.2)																																									
大腸がん	308人 (15.2)	318人 (12.0)	259人 (9.7)	350人 (6.1)	360人 (6.3)																																									
子宮がん	224人 (12.4)	164人 (15.8)	93人 (9.0)	241人 (12.6)	271人 (16.5)																																									
乳がん	171人 (12.3)	159人 (18.6)	95人 (11.1)	262人 (15.1)	258人 (20.7)																																									
前立腺がん			156人 (16.9)	124人 (11.6)	137人 (7.5)																																									

(款) 4 衛生費 (項) 1 保健衛生費 (目) 1 保健衛生総務費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課								
10 新たなステージに入ったがん検診の総合支援事業費 (歳入歳出決算書 P.73)	1,097	428,814	がんの早期発見と正しい健康意識の普及啓発、健康保持及び増進を図るため、特定の年齢に達した者に対し、検診費用が無料となる「がん検診クーポン券」を配布し、働き盛り世代のがん検診の受診促進を図った。 〈内容〉 ・がん検診台帳の整備 ・個別通知による知識啓発及び検診受診勧奨 ・無料クーポン券によるがん検診等 〈子宮頸がん検診対象者〉 ・20、25、30、35、40歳になる女性で過去5年度に一度も検診を受診していない者 〈乳がん検診対象者〉 ・40、45、50、55、60歳になる女性で過去5年度に一度も検診を受診していない者 【実績】受診人数(受診率：%) <table border="1" data-bbox="1070 766 1344 933"> <tr> <td></td> <td>H28</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">子宮頸がん</td> <td>7人</td> </tr> <tr> <td>(3.9)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">乳がん</td> <td>20人</td> </tr> <tr> <td>(9.8)</td> </tr> </table>		H28	子宮頸がん	7人	(3.9)	乳がん	20人	(9.8)	健康児童課
	H28											
子宮頸がん	7人											
	(3.9)											
乳がん	20人											
	(9.8)											

(款) 4 衛生費 (項) 1 保健衛生費 (目) 1 保健衛生総務費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課
15 高齢者人間ドック事業費 (歳入歳出決算書 P.73)	1,632	1,630,766	<p>高齢者の健康の保持増進を図るため、疾病の早期発見・早期治療に効果のある人間ドックを受診する後期高齢者医療被保険者に対して、受診費用の一部を助成し住民の健康維持増進に寄与した。</p> <p>平成28年度 ◇受診者数 39人 (男 26人 女 13人) ◇実施期間 平成28年4月から平成29年3月 ◇医療機関 5機関 ◇健診区分 人間ドック・脳ドック・肺ドック・前立腺腫瘍マーカー</p> <p>平成27年度 ◇受診者数 26人 (男 16人 女 10人) ◇実施期間 平成27年4月から平成28年3月 ◇医療機関 5機関 ◇健診区分 人間ドック・脳ドック・肺ドック・前立腺腫瘍マーカー</p>	介護医療課

(款) 4 衛生費 (項) 1 保健衛生費 (目) 2 予防費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課																																																																																				
1 各種予防接種等対策事業費 (歳入歳出決算書 P.73)	23,279	19,069,603	伝染のおそれのある疾病の発生及びまん延を予防するために、予防接種を行い、公衆衛生の向上及び増進を図った。 〈接種実績〉接種人数 <table border="1" data-bbox="1070 419 1872 922"> <thead> <tr> <th></th> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>BCG</td> <td>62人</td> <td>48人</td> <td>60人</td> <td>55人</td> <td>59人</td> </tr> <tr> <td>不活化ポリオ</td> <td>生54人 不157人</td> <td>84人</td> <td>241人</td> <td>13人</td> <td>2人</td> </tr> <tr> <td>二種混合</td> <td>59人</td> <td>36人</td> <td>63人</td> <td>51人</td> <td>48人</td> </tr> <tr> <td>三種混合</td> <td>207人</td> <td>75人</td> <td>16人</td> <td>4人</td> <td>1人</td> </tr> <tr> <td>四種混合</td> <td>73人</td> <td>227人</td> <td>241人</td> <td>213人</td> <td>224人</td> </tr> <tr> <td>麻しん・風しん</td> <td>271人</td> <td>127人</td> <td>108人</td> <td>129人</td> <td>117人</td> </tr> <tr> <td>水痘</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>146人</td> <td>92人</td> </tr> <tr> <td>日本脳炎</td> <td>362人</td> <td>331人</td> <td>298人</td> <td>239人</td> <td>279人</td> </tr> <tr> <td>ヒブ</td> <td>217人</td> <td>320人</td> <td>246人</td> <td>210人</td> <td>207人</td> </tr> <tr> <td>小児肺炎球菌</td> <td>233人</td> <td>311人</td> <td>251人</td> <td>205人</td> <td>203人</td> </tr> <tr> <td>子宮頸がん</td> <td>110人</td> <td>32人</td> <td>1人</td> <td>2人</td> <td>3人</td> </tr> <tr> <td>高齢者肺炎球菌</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>207人</td> <td>235人</td> </tr> <tr> <td>インフルエンザ</td> <td>1,308人</td> <td>1,314人</td> <td>1,343人</td> <td>1,272人</td> <td>1,324人</td> </tr> </tbody> </table>		H24	H25	H26	H27	H28	BCG	62人	48人	60人	55人	59人	不活化ポリオ	生54人 不157人	84人	241人	13人	2人	二種混合	59人	36人	63人	51人	48人	三種混合	207人	75人	16人	4人	1人	四種混合	73人	227人	241人	213人	224人	麻しん・風しん	271人	127人	108人	129人	117人	水痘	—	—	—	146人	92人	日本脳炎	362人	331人	298人	239人	279人	ヒブ	217人	320人	246人	210人	207人	小児肺炎球菌	233人	311人	251人	205人	203人	子宮頸がん	110人	32人	1人	2人	3人	高齢者肺炎球菌	—	—	—	207人	235人	インフルエンザ	1,308人	1,314人	1,343人	1,272人	1,324人	健康児童課
	H24	H25	H26	H27	H28																																																																																			
BCG	62人	48人	60人	55人	59人																																																																																			
不活化ポリオ	生54人 不157人	84人	241人	13人	2人																																																																																			
二種混合	59人	36人	63人	51人	48人																																																																																			
三種混合	207人	75人	16人	4人	1人																																																																																			
四種混合	73人	227人	241人	213人	224人																																																																																			
麻しん・風しん	271人	127人	108人	129人	117人																																																																																			
水痘	—	—	—	146人	92人																																																																																			
日本脳炎	362人	331人	298人	239人	279人																																																																																			
ヒブ	217人	320人	246人	210人	207人																																																																																			
小児肺炎球菌	233人	311人	251人	205人	203人																																																																																			
子宮頸がん	110人	32人	1人	2人	3人																																																																																			
高齢者肺炎球菌	—	—	—	207人	235人																																																																																			
インフルエンザ	1,308人	1,314人	1,343人	1,272人	1,324人																																																																																			

(款) 4 衛生費 (項) 1 保健衛生費 (目) 3 環境衛生費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課
2 家庭用資源有効利用設備設置補助事業費 (歳入歳出決算書 P.75)	130	124,400	<p>資源循環型社会の実現を目指して、ごみの減量化、水資源の有効利用及び再資源化の推進並びに住民の環境への意識向上を図ることを目的に生ごみ処理容器、雨水貯留設備の購入に対して経費の一部を補助した。</p> <p>生ごみ処理容器、雨水貯留設備を購入する経費の一部に対して補助を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 生ごみ処理容器：購入金額の2分の1 (上限2万円) ・ 雨水タンク：購入金額の4分の3 (上限3万円) <p>※雨水タンクの補助については、平成28年度より京都府補助制度も活用した。</p> <p>28年度補助実績</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 生ごみ処理容器：3件 ・ 雨水タンク：5件 <p>補助金額：合計 124,400円</p>	建設環境課

(款) 4 衛生費 (項) 1 保健衛生費 (目) 3 環境衛生費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課
<p>4 環のくらし地域活動促進事業費</p> <p>(歳入歳出決算書 P.75)</p>	<p>2,700</p>	<p>2,278,800</p>	<p>ごみの減量化、資源の有効利用及び住民自らが取り組む環境活動の推進を図るため、地域団体による自主的な再生資源の集団回収活動に対して、補助金を交付した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各実施団体が定期的、継続的に取り組んだ再生資源（新聞紙・段ボール・雑誌類・古布）の回収実績に補助金（1kgあたり5円）を交付した。 ・実施団体は、交付された補助金額から換算し付与されたポイント分の環境活動を積極的に行った。 <p>【実施団体・補助金交付額】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施団体：14団体 ・交付金額：2,278,800円 <p>【回収実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新聞紙：178,610kg ・段ボール：104,820kg ・雑誌類：148,720kg ・古布：23,320kg ・紙パック：290kg <p>※28年10月より紙パックを補助対象に追加した。</p>	<p>建設環境課</p>

(款) 4 衛生費 (項) 2 清掃費 (目) 1 塵芥処理費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課
<p>2 ごみの出し方ハンドブック作成事業費</p> <p>(歳入歳出決算書 P.75)</p>	610	388,800	<p>町のごみの出し方の基本と物品ごとの出し方を記載したハンドブックを作成し、適切な分別方法の普及促進を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発行部数：4,000部 ・印刷製本費：388,800円 ・全世帯に配布 ・町HPに掲載 <p>ごみの出し方ハンドブック内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ごみの種類（一般廃棄物、事業系一般廃棄物、産業廃棄物） ・ごみの出し方（時間、場所、ゴミ袋、自己搬入） ・種類ごとの出し方（可燃、不燃、資源、古紙回収、油、キャップ、小型家電） ・よくある質問 ・50音順分類一覧 	建設環境課

(款) 4 衛生費 (項) 2 清掃費 (目) 1 塵芥処理費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課
<p>3 塵芥収集車整備事業費</p> <p>(歳入歳出決算書 P.75)</p>	<p>15,357</p>	<p>13,165,999</p>	<p>地球温暖化対策の一環として、清掃等作業用車両(2tダンプ及びパッカー車)を低燃費車、低公害車などの環境負荷の少ない車両へ転換し、地球温暖化の原因となる温室効果ガスの削減を図った。</p> <p>2tダンプ(新ダンプ)購入 ・本体+ボデー架装 ※清掃用作業の他、災害時に発生するガレキ運搬など多目的な用途に対応 購入費用：5,100,000円</p> <p>2t塵芥収集車(パッカー車)購入 ・塵芥車専用シャーシ2t ・回転板式 ・バックアイカメラ装備 購入費用：8,065,999円 住民から車体に描くイラスト原案を募集した。</p>	<p>建設環境課</p>

(款) 5 労働費 (項) 1 労働諸費 (目) 2 雇用対策事業費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課																
2 町内雇用促進助成事業費 (歳入歳出決算書 P. 77)	1,400	1,200,000	住民の雇用安定確保及び雇用機会の拡大を図るため、町内在住者等を正規職員として雇用した事業主に対し対象雇用者1人あたり20万円を助成した。 ○町内雇用促進助成金 交付実績：1,200,000円 ・新規雇用者：6名 ・交付事業者：5社 <table border="1" data-bbox="1102 587 1915 721"> <thead> <tr> <th></th> <th>交付事業者</th> <th>新規雇用者</th> <th>助成金額(千円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成25年度</td> <td>4社</td> <td>7名</td> <td>1,400</td> </tr> <tr> <td>平成26年度</td> <td>4社</td> <td>5名</td> <td>1,000</td> </tr> <tr> <td>平成27年度</td> <td>3社</td> <td>3名</td> <td>600</td> </tr> </tbody> </table>		交付事業者	新規雇用者	助成金額(千円)	平成25年度	4社	7名	1,400	平成26年度	4社	5名	1,000	平成27年度	3社	3名	600	産業観光課
	交付事業者	新規雇用者	助成金額(千円)																	
平成25年度	4社	7名	1,400																	
平成26年度	4社	5名	1,000																	
平成27年度	3社	3名	600																	
3 町内企業就業推進事業費 (歳入歳出決算書 P. 77)	490	171,666	町内在住者の町内企業への就業促進を目的として、大学生及び高校生等を対象に、働き方や仕事の決め方など基本的な意識啓発・知識習得と、町内企業による企業紹介・PRをセットで行うセミナーを開催した。 <対象> 主に町内在住の学生及びその保護者。既卒者や町外在住者の参加も可。 <内容> 就職支援セミナーの開催(全3回) ・就職活動に向けた基本的な意識啓発、知識習得の講演 ・町内企業紹介(合計11社参加) ・参加者数(合計33名) ・新聞折込や町民の窓等による開催案内、HP掲載	産業観光課																

(款) 6 農林水産業費 (項) 1 農業費 (目) 3 農業振興費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課
5 農林業振興事業費補助金 (歳入歳出決算書 P.79)	3,618	3,564,000	宇治田原町の農業の活性化に関する事業に要する経費に対し補助金を交付することにより、本町の農業者の経営改善及び共同化を促進し、農業の生産性を高め、近代化を促進した。 【平成28年度実績】 ・コンバイン1台 ・茶工場設備増設1件 ・乗用型茶摘採機1台 ・自走式草刈機1台 ・防霜ファン整備 受益戸数2戸 受益面積88.7a ・一重被覆(ネットのみ) 受益戸数1戸 受益面積29.0a	産業観光課

(款) 6 農林水産業費 (項) 1 農業費 (目) 3 農業振興費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課
11 日本緑茶発祥のまち魅力発信加速化事業費 (繰越) (歳入歳出決算書 P.81)	8,717	8,636,668	<p>「日本緑茶発祥の地」という歴史や、宇治茶を支える一大産地として伝統ある宇治田原茶を広くPRし、良質茶生産の振興と発展を図るため、本町ならではの特色のある施策を実施し、茶どころ宇治田原を町内外に発信した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○転入者記念品プレゼント事業 169,196円 89件(前年度比9件増) ○来訪者接待用新茶代 97,580円 ○ティーゲート草刈 プランター購入 139,452円 ○町観光パンフレットの作成 4,931,280円 町観光パンフレットの増刷(2,000部) 町観光ポスター印刷 299,160円 ○ふるさとまつり実行委員会助成金 3,000,000円 <ul style="list-style-type: none"> ・町制60周年記念企画 「カワイイ茶摘衣装コレクション」 ・茶名人のお茶接待 ・ふるさとスイーツまつり ・永谷宗円生家散策ツアー ・手もみ実演、お茶の淹れ方教室 等 	産業観光課

(款) 6 農林水産業費 (項) 1 農業費 (目) 5 農地費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課
1 大福茶園再造成事業費 (歳入歳出決算書 P.81)	6,552	6,533,509	府営で平成28年度から施工された湯屋谷地区大福集団茶園の造成工事(植栽面積10.6ha)の防災工事を行われた。 府事業費 31,500,000円 国(55%) 17,325,000円 府(27.5%) 8,663,000円 町(2.5%) 787,000円 地元 4,046,109円 その他 678,891円 換地委員賃金 372,000円 換地業務委託 1,328,400円 土地改良事業負担金 4,833,109円	産業観光課

(款) 6 農林水産業費 (項) 2 林業費 (目) 2 林業振興費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課
1 要適正管理森林等災害 予防事業費 (歳入歳出決算書 P.83)	1,000	413,000	京都府が「京都府森林の適正な管理に関する条例」に基づき下方に人家などがある森林を「要適正管理森林」として指定することにより、森林所有者等が森林の状況を常に把握する等その適正な管理に努めた。要適正管理森林等において、土砂の崩壊等による荒廃により災害の原因となるおそれが生じることを未然に抑止することを目的に、立木の除去等に対して補助金を交付した。 補助率1/2以内 ・H28 3件 413千円	産業観光課

(款) 6 農林水産業費 (項) 2 林業費 (目) 3 有害獣駆除費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課																																														
1 有害鳥獣対策事業費 (歳入歳出決算書 P.83)	7,715	6,775,282	<p>有害鳥獣による農林作物等の被害が増加してきており、被害の軽減及び防除対策が急務なことから、有害鳥獣駆除及び被害防止の各種対策に取り組み、被害の縮小に努め農林業の活性化を図った。</p> <p>○有害獣駆除事業 1,740,962円 野生鳥獣による農林作物被害に対し、綴喜郡猟友会宇治田原支部に捕獲委託を行い、有害鳥獣の駆除を行った。</p> <p>〈駆除の実績〉 (単位：頭)</p> <table border="1" data-bbox="1099 582 1917 847"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成24年度</th> <th>平成25年度</th> <th>平成26年度</th> <th>平成27年度</th> <th>平成28年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>サル</td> <td>8</td> <td>8</td> <td>8</td> <td>6</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>イノシシ</td> <td>24</td> <td>25</td> <td>54</td> <td>29</td> <td>41</td> </tr> <tr> <td>シカ</td> <td>57</td> <td>71</td> <td>103</td> <td>116</td> <td>88</td> </tr> <tr> <td>カラス</td> <td>4</td> <td>28</td> <td>20</td> <td>24</td> <td>5</td> </tr> </tbody> </table> <p>○有害鳥獣被害調査業務(サル追い払い) 4,999,320円 宇治田原町森林組合に委託し、地域に出没するサルの追い払い及び出没状況の調査を行った。</p> <p>○野生鳥獣防護柵設置補助金 35,000円 野生鳥獣による農林作物被害を防止するための施設等の設置に要する経費に対し、補助金を交付した。(町単独事業)</p> <p>〈設置の実績〉</p> <table border="1" data-bbox="1099 1161 1641 1396"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成26年度</th> <th>平成27年度</th> <th>平成28年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>設置件数</td> <td>3件</td> <td>4件</td> <td>1件</td> </tr> <tr> <td>延長</td> <td>719m</td> <td>775m</td> <td>24m</td> </tr> <tr> <td>金額</td> <td>129,000円</td> <td>104,000円</td> <td>35,000円</td> </tr> </tbody> </table>		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	サル	8	8	8	6	0	イノシシ	24	25	54	29	41	シカ	57	71	103	116	88	カラス	4	28	20	24	5		平成26年度	平成27年度	平成28年度	設置件数	3件	4件	1件	延長	719m	775m	24m	金額	129,000円	104,000円	35,000円	産業観光課
	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度																																													
サル	8	8	8	6	0																																													
イノシシ	24	25	54	29	41																																													
シカ	57	71	103	116	88																																													
カラス	4	28	20	24	5																																													
	平成26年度	平成27年度	平成28年度																																															
設置件数	3件	4件	1件																																															
延長	719m	775m	24m																																															
金額	129,000円	104,000円	35,000円																																															

(款) 7 商工費 (項) 1 商工費 (目) 2 商工振興費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課
2 企業立地促進助成金 (歳入歳出決算書 P.85)	3,200	3,180,000	<p>産業のグローバル化が進み、地域間競争が激化する中において、企業の立地を促進し、本町経済の活性化と就業機会の拡大を図るため、宇治田原町企業立地促進条例に基づき、工業団地及び緑苑坂テクノパーク等に立地した企業に助成金の交付を行った。</p> <p>○事業場設置助成金 平成26年度に新規操業開始した企業が取得した土地・建物・償却資産に課税された固定資産税額の中で町が認定した金額の4/5相当額を助成金として交付。 ・交付実績：1,980,000円 ・交付事業者：1社</p> <p>○雇用創出助成金 創業に伴い町内在住者を新規雇用した場合、1人につき30万円を助成金として交付。 ・交付実績：1,200,000円 ・交付事業者：1社 ・新規雇用者：4名</p>	産業観光課
3 中小企業経営支援事業費 (歳入歳出決算書 P.85)	5,929	4,759,394	<p>地域の中小企業・小規模事業者の負担の軽減、経営安定を図るため、京都府中小企業融資制度及び(株)日本政策金融公庫融資制度による融資に係る利子の一部、並びに京都府中小企業融資制度による融資を受けた場合の信用保証料に対して、補給金を交付し、支援を行った。</p> <p>○交付件数 融資利子補給：24件 2,782,403円 保証料補給：14件 1,976,991円</p>	産業観光課

(款) 7 商工費 (項) 1 商工費 (目) 2 商工振興費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課
<p>6 宇治田原ブランド育成 加速化事業費(繰越)</p> <p>(歳入歳出決算書 P.85)</p>	<p>10,000</p>	<p>9,711,399</p>	<p>町内で事業を営む事業者等が実施する地域資源を活用した新商品・新サービスの開発、経営改善事業及び大都市圏で開催される展示会、商談会での合同出展等に係る経費に対して補助金を交付。</p> <p>○宇治田原ブランド等販路拡大応援事業 ・大都市圏で開催される展示会、商談会への合同出展に係る必要経費を補助することにより、町内事業者が有する製品、技術等の販路開拓・拡大を支援し、宇治田原ブランドの国内外への発信を行った。</p> <p>【実績】・補助金額：3,775,399円 ・参加事業者数：町内事業所5社 ・商談会名：FOODEX JAPAN2017 国際食品・飲料展 ・期間：平成29年3月7日(火)～10日(金) ・場所：千葉県千葉市幕張メッセ</p> <p>○地域ブランド育成等応援事業 ・中小企業者等が地域資源を活用して新商品・新サービスを開発する経費及び地域資源を活用した商品・サービスの展示会等に出展する経費に補助金を交付。 ・経費の3分の2以内で40万円を限度として補助。(ただし複数の中小企業者等で共同して事業を実施する場合は80万円を限度として補助。)</p> <p>【実績】 8件 2,444,000円</p> <p>○経営改善事業 ・省エネ対策や販売促進、店舗のバリアフリー化等の経営改善事業の経費に補助金を交付。 ・経費の2分の1以内で20万円を限度として補助。(ただし事業の実施については町内事業者からの調達を原則とする。真にやむを得ない理由により町内事業者からの調達によらないものについては2分の1以内で10万円を限度として補助。)</p> <p>【実績】 21件 3,492,000円</p>	<p>産業観光課</p>

(款) 7 商工費 (項) 1 商工費 (目) 3 観光費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課
<p>3 「お茶の京都」交流拠点整備等加速化事業費(繰越) (歳入歳出決算書 P.87)</p>	<p>10,310</p>	<p>10,305,352</p>	<p>京都府及び本町を含む府南部12市町村で進める「お茶の京都」事業にかかる本町における戦略的交流拠点である湯屋谷地区の整備等について、来る平成29年度の「お茶の京都」事業におけるターゲットイヤーに備え、当該地区での整備等を実施。</p> <p>○駐車場の整備 4,294,080円 湯屋谷会館横空地を宗円生家の駐車場として整備し、来訪者の利便性の向上及び来訪者の増加による地域交通の安全性を補完した。</p> <p>○茶の木の設置 96,552円 来訪者に「緑茶発祥の地」としてのイメージの醸成を図るため、交流拠点の玄関口となる湯屋谷会館付近に茶の木の植木鉢を設置。</p> <p>○やんたん散策マップ作成 783,972円 茶畑や宗円生家など日本遺産を巡るマップを作成した。</p> <p>○PRビデオ作成 3,680,748円 町の観光資源・情報を発信するPRビデオと、湯屋谷地区の地域資源や永谷宗円生家で実施しているイベント等「お茶の京都」に相応しい独自の地域イベントを内外に広くプロモーション出来るようPRビデオを作成した。</p> <p>○お茶の京都DMO設立等 1,450,000円 お茶の一大産地である山城地域において、お茶の京都地域づくりの中核組織としてDMOを設立し、京都府・関係市町村・関係団体等と連携し、広域観光の振興、宇治茶のプレミアムブランド化等を進めた。</p>	<p>産業観光課</p>

(款) 7 商工費 (項) 1 商工費 (目) 3 観光費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課
<p>4 おもてなし観光推進事業費(繰越)</p> <p>(歳入歳出決算書 P.87)</p>	<p>1,890</p>	<p>1,124,492</p>	<p>平成27年度に策定した観光振興計画の推進及び観光によるまちづくりの実現を図るため、観光まちづくり会議を設置するとともに、観光振興計画に位置づけられた観光魅力の創出に関する取組(着地型プログラムの充実等)を支援した。</p> <p>〈内容〉</p> <p>○観光まちづくり会議の設置 持続的な観光まちづくりを推進するため、「観光まちづくり会議」を設置し、多様な主体による連携・協力体制を構築し、観光情報等の一元的な収集・発信、おもてなし人材の発掘、育成等に取り組んだ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・キックオフミーティング 平成28年11月13日(日) 内容：基調講演・ゲストスピーチ・パネルディスカッション ・4つの部会(=観光振興計画4つの方針) <ul style="list-style-type: none"> ①観光推進力づくり部会/2回開催(フィールドワーク) ②観光の基盤整備部会/4回開催(リーダー会議・フィールドワーク) ③観光魅力の創造部会/2回開催(グループワーク) ④観光情報発信部会/※創造部会と連携 <p>○おもてなし推進補助金 観光によるまちづくりの観点から住民自らが「おもてなし力」を発揮して、企画、実施する事業への支援を実施。</p> <p>(対象事業・補助率)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域資源を活用し、交流人口の増加や誘客に資するための事業、地域のにぎわい創出に資するための事業等の経費を補助。 ・経費の2分の1以内で200万円を上限。 ・営利性が低く、かつ新規性が認められる場合は10分の10以内で20万円を上限。 <p>(実績)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・5団体、962,000円(来場者数：1,803人) 	<p>産業観光課</p>

(款) 7 商工費 (項) 1 商工費 (目) 3 観光費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課
5 末山・くつわ池自然公園整備加速化事業費(繰越) (歳入歳出決算書 P.87)	11,290	11,198,700	<p>本町の随一のレクリエーション施設である森林総合利用施設(末山・くつわ池自然公園)において、利用者へのサービス向上と安心・安全で快適な自然とのふれあい空間を提供できるよう施設整備を行った。</p> <p>○末山・くつわ池自然公園トイレ改修(設計業務・改修工事) 2,224,800円 ・場所：みどりの広場内トイレ ・内容：トイレ洋式化(3箇所)、洗面器腰壁改修、入り口ドア改修等</p> <p>○トレーラーハウス整備 4,999,500円 ・場所：オートキャンプ場 ・内容：トレーラーハウス1台、付属設備・備品一式、電力供給設備一式</p> <p>○展望台整備 3,974,400円 ・内容：ハート形展望デッキ1基・階段1基(W=1.0m)・アールベンチ2基(W=1.5m)・ロープ柵(H=1.165m、ロープ3段、L=12.0m)・展望台周辺森林整備</p> <p>○末山・くつわ池自然公園整備推進会議開催(全7回)</p>	産業観光課

(款) 7 商工費 (項) 1 商工費 (目) 3 観光費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課
<p>6 京都南山城古寺巡礼バスツアー事業費(繰越) (歳入歳出決算書 P.87)</p>	<p>2,500</p>	<p>2,500,000</p>	<p>南山城地域には、奈良時代や平安時代に創建された古刹や国宝、重要文化財が、地域の「宝」(観光資源)として数多く点在している。 これらの観光資源の魅力を持つ古寺を中心に、南山城地域の多様な観光資源を巡るバスツアー商品を開発することで、地域内の多様な観光資源を広く発信し、南山城地域・本町への誘客・知名度の向上を図った。</p> <p>〈内容〉 関係する市町(木津川市、京田辺市、笠置町)、南山城古寺の会及び民間バス会社と連携し、南山城地域特産の柿渋を利用した朱印帳作成、古寺等を巡るバスツアー実施、4か国語パンフレット作成、新聞紙、ミニコミ誌等を活用したPR広報を実施した。</p> <p>○バスツアー実施 ・秋の秘宝・秘仏バスツアー 6日間・150名 ・秋の大和路 10月～12月・975名 ・お茶の里と十一面観音の古寺をたずねる 4日間・78名</p> <p>○朱印帳作成 2,000部</p> <p>○多言語パンフレット作成 90,000部</p> <p>○バス会社へのチラシ配布 16,000枚</p> <p>○新聞広告 62万部</p>	<p>産業観光課</p>

(款) 7 商工費 (項) 1 商工費 (目) 3 観光費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課
<p>7 観光まちづくり促進事業費 (歳入歳出決算書 P.87)</p>	<p>8,834</p>	<p>8,818,000</p>	<p>観光振興計画の推進及び観光によるまちづくりの実現を図るため、観光振興計画に掲げる「観光の基盤整備」や「観光情報発信」の充実に向け、主要観光施設の整備や観光ポータルサイト構築に向けた取り組みを行った。</p> <p>〈内容〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ○観光戦略拠点環境整備事業 2,376,000円 観光振興計画に掲げる観光の基盤整備及び「お茶の京都」事業における本町の戦略的交流拠点である湯屋谷地域の整備を促進するため、永谷宗円生家の進入路坂道を階段に改修した。 <ul style="list-style-type: none"> ・石張り階段 L=12,000 W=1,600 ・ステンレス製手すり 48mm一段・L=7,800 W=4,400 ・アルミ製門扉 L=700×2 (H=1,000) ・支柱 ロー75×2本 ○観光ポータルサイト構築基礎調査等実施事業 2,500,000円 町内外へ本町の観光情報をわかりやすく発信するために、観光情報発信に特化したポータルサイトを平成29年度に構築することとし、これに先駆け、ポータルサイトの企画、基礎調査等を実施した。 ○宇治田原町末山及びくつわ池自然公園整備方針策定事業 3,942,000円 観光振興計画に掲げる観光の基盤整備を推進するため、本町随一のレクリエーション施設であり、かつ、本町の主要観光施設である末山・くつわ池自然公園の有効な活用方策を描いた、整備方針を策定した。 <ul style="list-style-type: none"> ・公園全体コンセプト：「宇治田原町の自然の中で五感をフルに使って遊んで学べる体験フィールド」 ・基本方針：自然を満喫できる場づくり、家族や仲間と楽しめる場づくり、集客につながる特色ある魅力づくり等 	<p>産業観光課</p>

(款) 8 土木費 (項) 2 道路橋梁費 (目) 1 道路橋梁総務費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課
<p>2 宇治田原山手線整備促進住民会議助成金</p> <p>(歳入歳出決算書 P. 89)</p>	600	600,000	<p>都市計画道路宇治田原山手線の早期完成を求める住民会議を支援するため、その活動助成金を交付し、各種活動に参加した。</p> <p>京都府山田知事を訪問(5月18日:京都府庁)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・28年度山手線予算化(事業着手準備調査費)へのお礼 <p>第1回四役会(6月14日:商工センター)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・役員会の日程及び協議内容等について <p>第1回役員会(6月23日:商工センター)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成27年度収入支出決算、平成28年度事業計画等について ・山手線の近況報告等について ・啓発グッズ、イベント開催等について <p>うぐいす幼稚園での啓発事業(7月19日:うぐいす幼稚園)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・風船、うちわ配布 <p>宇治木屋住民会議メンバー4人視察受入及び懇談会</p> <p>宇治田原保育所での啓発事業(7月28日:宇治田原保育所)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・風船、うちわ配布 <p>一斉啓発活動日(8月26日:宇治田原町総合文化センター 他)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・横断幕、のぼり旗設置(参加者 約150名) <p>田原祭(前夜祭)での啓発事業(10月8日:御旅所)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・風船配布 <p>第2回四役会(11月25日:役場)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・京都府との意見交換会について <p>京都府との意見交換会(11月28日:山城広域振興局)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・山城広域振興局長、山城北土木事務所長他との意見交換 <p>京都府山田知事へ要望書を提出(1月12日:京都府庁)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・要望書の提出、意見交換 <p>第2回役員会(2月23日:役場大会議室)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成28年度事業経過報告について ・平成28年度収入支出状況について ・平成29年度事業計画(案)について ・平成29年度予算(案)について <p>広報紙発行:「宇治田原山手線促進だより」第5号発行</p> <p><事業経過></p> <p>平成26年2月10日に設立してから、毎年町内での一斉啓発活動、京都府知事への要望活動、京都府との意見交換会を実施し、宇治田原山手線促進だよりを発行している。</p>	プロジェクト推進課

(款) 8 土木費 (項) 2 道路橋梁費 (目) 3 道路橋梁新設改良費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課
1 宇治田原山手線整備事業費 (歳入歳出決算書 P. 89)	160,965	90,952,379	宇治田原山手線の国道307号以北(滋賀県境)約1.2kmの用地測量、物件調査、用地鑑定を行い用地取得に取り組んだ。 宇治田原山手線用地測量等業務委託料 6,480,000円 宇治田原山手線道路用地鑑定評価業務委託料 264,600円 宇治田原山手線筆界特定業務委託料 313,200円 公有財産購入費 3名 83,892,787円 (用地費 76,883,787円) (補償費 7,009,000円) 平成26年度実績 宇治田原山手線詳細設計業務 平成27年度実績 宇治田原山手線物件調査業務委託 宇治田原山手線道路用地鑑定評価業務委託 公有財産購入 16名	プロジェクト推進課

(款) 8 土木費 (項) 2 道路橋梁費 (目) 3 道路橋梁新設改良費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課
2 町道新設改良事業費 (歳入歳出決算書 P. 89)	65,470	61,846,138	<p>住民生活の利便性、安全性、快適性を確保するため主要町道の計画的な整備及び住民生活に密着した生活道路の整備改良を行った。</p> <p>南北線道路予備設計業務委託 委託料 3,067,200円 設計 一式</p> <p>岩山立川線用地測量業務委託 他 委託料他 2,868,384円 用地測量 一式 他</p> <p>木元線道路改良工事 工事請負費 13,625,280円 舗装工 一式</p> <p>郷之口鷲峰山線路肩改良工事 工事請負費 6,683,040円 路肩改良工 一式</p> <p>2の23号線道路拡幅測量設計業務委託 他 委託料 3,125,520円 測量・設計 一式 他</p> <p>道路・水路改修工事(1) 工事請負費 6,242,400円 大型ブロック積工 一式</p> <p>道路・水路改修工事(2) 工事請負費 6,102,000円 郷之口南線側溝工 他</p> <p>道路・水路改修工事(3) 工事請負費 5,165,640円 4の16号線側溝工 他</p> <p>道路・水路改修工事(4) 工事請負費 5,086,800円 郷之口湯屋谷線側溝工 他</p> <p>4の14号線舗装修繕工事 工事請負費 1,134,000円 舗装工 一式</p> <p>郷之口湯屋谷線側溝改良工事 工事請負費 4,672,080円 側溝工 一式</p> <p>道路排水処理調査検討業務委託 委託料 3,456,000円 測量・設計 一式</p> <p>5の4号線道路拡幅改良事業 用地買収費 484,218円 用地買収</p>	建設環境課

(款) 8 土木費 (項) 2 道路橋梁費 (目) 3 道路橋梁新設改良費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課
3 道路施設長寿命化修繕事業費 (歳入歳出決算書 P. 89)	55,601	54,624,408	<p>道路施設(橋梁、舗装)の経年劣化が進んでいることから、道路施設の長寿命化修繕計画に基づき、計画的な補強、修繕及び補修工事を行うことで、道路施設の安全を確保した。</p> <p>橋梁定期点検業務委託 委託料 10,916,640円 橋梁点検 46橋</p> <p>荒木橋重点監理支援業務委託 委託料 75,600円</p> <p>荒木橋橋梁修繕工事(1) 工事請負費 12,384,040円 伸縮装置設置工 他</p> <p>荒木橋橋梁修繕工事(2) 工事請負費 18,816,840円 主桁補修工 他</p> <p>丸山湯船線舗装修繕工事 工事請負費 12,375,720円 As舗装 1,567㎡</p>	建設環境課

(款) 8 土木費 (項) 2 道路橋梁費 (目) 3 道路橋梁新設改良費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課
4 宇治田原山手線整備事業費(繰越) (歳入歳出決算書 P.89)	41,160	41,159,810	宇治田原山手線の国道307号以北(滋賀県境)約1.2kmの用地測量、物件調査、用地鑑定を行い用地取得に取り組んだ。 公有財産購入費 3名 41,159,810円 (用地費 39,157,810円) (補償費 2,002,000円)	プロジェクト推進課

(款) 8 土木費 (項) 2 道路橋梁費 (目) 4 交通安全対策費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課
1 曇り止めカーブミラー 整備事業費 (歳入歳出決算書 P.91)	10,000	9,999,720	<p>交差点や見通しの悪いカーブに設置しているカーブミラーについて、曇り止めと凍結防止機能を備えた防曇型カーブミラーに更新したことで、冬季におけるドライバーの視認性を確保し、交通事故の防止を図った。</p> <p>防曇型カーブミラー更新工事 工事請負費 9,999,720円 道路反射鏡更新 77箇所</p>	建設環境課

(款) 8 土木費 (項) 5 都市計画費 (目) 1 都市計画総務費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課
2 都市計画制度導入検討 事業費 (歳入歳出決算書 P.91)	3,791	3,790,800	<p>平成28年3月の宇治田原町第5次まちづくり総合計画の策定や、宇治田原町新市街地構想、新名神高速道路建設に伴う都市計画道路宇治田原山手線の事業進捗に合わせた都市計画制度を導入するため、宇治田原町都市計画マスタープランを改定し、新たな都市計画用途地域及び高度地区、道路を決定した。(29年5月告示)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・都市計画マスタープランの改定(28年11月) 新たに市街化を図っていくべき地域(ものづくり創造ゾーン、にぎわい創出ゾーン)等を位置づけ ・都市計画用途地域・高度地区・道路の決定 ものづくり創造ゾーン他を工業地域に決定 27.9ha にぎわい創出ゾーンを準工業地域に決定 19.6ha 第1南北線他4路線を都市計画道路に決定 	建設環境課

(款) 8 土木費 (項) 5 都市計画費 (目) 1 都市計画総務費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課
<p>11 空き家等対策事業費 (繰越)</p> <p>(歳入歳出決算書 P.93)</p>	<p>1,664</p>	<p>1,663,847</p>	<p>平成27年度に実施した、町内全域における空き家及び危険建築物の実態を把握するための「空き家等実態調査」の結果を踏まえ、実態調査で判明した空き家等所有者への意向調査を実施し、町内における空き家等の適正な管理や利活用、定住化を促進するための対策を検討した。</p> <p>〈内容〉</p> <p>○ 「空き家等実態調査」の結果で「空家である」「空家と思われる」と判定した住宅のうち、固定資産台帳等で所有者の特定ができた156件に対して今後の利活用等の意向に係るアンケート調査を実施した。</p> <p>[アンケート調査の主な項目]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 住宅の利用状況について ・ 住宅が日常的に住んでいない状態となった経緯 ・ 現在及び今後の住宅の維持・管理状況について ・ 住宅の今後の利活用について ・ 空家バンク制度について <p>[配布・回収状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 調査実施時期 平成28年8月～12月 ・ 調査対象者数 156件 ・ 回収数 124件 (回収率79.5%) <p>※ 有効回答数中の設問から空家と判断された件数102件うち、空家バンクへの登録意向 「今すぐ登録を希望」：12件 (11.8%) 「今後登録を検討」：20件 (19.6%)</p> <p>○ 国における動向、実態調査及び所有者意向調査を含む本町の空家対策の経緯等を踏まえ、今後の「空家等対策の推進に関する特別措置法」に基づく「空家等対策計画」の策定に向けた方向性やスケジュールを示す「町空き家等の対策・活用に向けた総合的な方針」を12月に策定・公表。</p>	<p>企画財政課</p>

(款) 8 土木費 (項) 5 都市計画費 (目) 1 都市計画総務費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課
<p>12 うじたわら空き家バンク構築事業費</p> <p>(歳入歳出決算書 P.93)</p>	800	799,200	<p>町内における空家等の適正な管理や利活用、定住化を促進するための取り組みの一環として、空家等の所有者と移住・定住者等との間で必要となる情報の円滑な提供とコーディネートを行う「うじたわら空き家バンク」制度を構築した。</p> <p>〈内容〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 町への移住定住促進による地域の活性化を図るための「宇治田原町空き家バンク設置要綱」の制定 <ul style="list-style-type: none"> ・ 空家の定義のほか、所有者、移住希望者、それぞれをつなぐ協力業者等のマッチングのしくみ、ルールを明確化。 ○ 空家等所有者と利用(移住)希望者の実際の不動産仲介を行うしくみづくり <ul style="list-style-type: none"> ・ H29.2.17(金) (公社)京都府宅地建物取引業協会と「空き家バンク運営に関する協力協定」を締結。 ・ H29.3.14(火) 京都府宅地建物取引業協会第六支部会員を対象に、「宇治田原町空き家バンク研修・説明会」を開催。 [申込事業者数] 21事業者・25名 ○ 町ホームページでの「空き家バンク」の開設 <ul style="list-style-type: none"> ・ 空家等所有者と移住・定住希望者のマッチングを行う空き家情報提供サイトを開設。 ・ H29.3.15～バンク運営を開始。 	企画財政課

(款) 9 消防費 (項) 1 消防費 (目) 2 非常備消防費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課
7 団員被服等整備事業費 (歳入歳出決算書 P.95)	4,167	4,025,144	町消防団装備品等配備計画に基づき、以下の装備品等の整備を行った。 【整備物品】 ○防火手袋 50双 ○保護メガネ 309個 ○ライフジャケット 99着	総務課

(款) 9 消防費 (項) 1 消防費 (目) 3 消防施設費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課
1 消防資機材整備事業費 (歳入歳出決算書 P.95)	4,225	4,132,183	町消防団装備品等配備計画に基づき、以下の資機材等の整備を行った。 【整備物品】 ○ヘッドライト 99個 ○トランシーバー 90台 ○スマートフォン 2台 ○フローティングストレーナー(低水位対応用資機材) 5台	総務課

(款) 10 教育費 (項) 1 教育総務費 (目) 2 事務局費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課
2 小中一貫教育推進事業費 (歳入歳出決算書 P.97)	3,958	3,670,722	<p>「宇治田原町小中連携・一貫教育のあり方検討会議審議のまとめ」の“「ふるさと宇治田原」を愛し、未来に羽ばたく子どもたちの育成をめざして”に基づき、義務教育9年間の一貫教育の推進を図り、さらに9年間の系統立った学習指導を進め、確かな学力を身につけた児童生徒を育成するために研究・活動を推進していく取組を行った。</p> <p>小学校から中学校へ滑らかに接続し、義務教育の充実に取り組み、本町の実情に即した教育環境整備を目指した。</p> <p>◆小・中学校を総称する愛称「維孝館学園」を決定した 宇治田原町小・中学校の小中一貫教育学園愛称選考委員会にて決定した。 一般公募 応募総数269点</p> <p>◆小中一貫教育推進協議会を5回開催した。</p> <p>◆「3校連携」「小中一貫教育推進」の核となるべき、コーディネーター教員(英語科)の後補充教員を継続して配置した。</p> <p>◆学校ごとの教職員の交流を行う中で、合唱交流会、小学生駅伝大会の練習指導、音楽専科教員による指導等を行った。</p> <p>◆小・中学校連携部において(学び、ふるさと、交流、生徒指導、支援、人権、養護、事務)の研究・実践を行った。</p> <p>◆共通の研究テーマで全学校が研究を進めた。</p>	学校教育課

(款) 10 教育費 (項) 1 教育総務費 (目) 2 事務局費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課
4 通級指導教室運営事業費 (歳入歳出決算書 P.97)	3,248	3,168,359	<p>小学校の通常学級に在籍する児童のうち、言語障がいや発達障がいなどの障がいによる学習上又は生活上の困難を持つ児童に対して症状の特性に応じたきめ細やかな指導、支援を行う通級指導教室を本町単独の教室として設置した。</p> <p>設置場所：田原小学校（旧多目的室） 教室改修及び教材購入等を実施。</p> <p>井手町並びに宇治田原町通級指導教室（多賀小学校）は、平成28年度1学期末をもって閉鎖。</p> <p>教室運営</p> <ul style="list-style-type: none"> ・担当教諭1名を配置（京都府教育委員会より） ・通級児童数21人（平成29年3月末時点） <ul style="list-style-type: none"> 田原小学校児童15人 宇治田原小学校児童6人 	学校教育課

(款) 10 教育費 (項) 1 教育総務費 (目) 2 事務局費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課
7 外国人青年招致事業費 (歳入歳出決算書 P.97)	2,230	2,091,149	児童生徒及び園児等が交流体験などにより、英語や異文化を理解する資質や能力を育成するため、外国語指導助手(ALT)の配置を行った。 ○英語指導助手(ALT)2人 ○平成28年度指導実績 中学校 193日 小学校 97日 保育所 12日 幼稚園 11日 延べ313日	学校教育課
8 幼稚園教育振興事業費 (歳入歳出決算書 P.97)	14,477	12,198,700	幼稚園教育の振興を図るため、就園奨励費を補助した。 また、園児の健康増進を図るため、町内幼稚園の在籍園児を対象に健康診断に要する費用の一部の補助を行った。 【補助件数】 ○幼稚園就園奨励費 9,915,600円 (77件) ○町独自補助分 1,348,000円 (23件) ○町内私立幼稚園健康診断補助金 378,500円 (1件) ○京都府第3子以降保育料無償化事業 556,600円 (5件)	学校教育課

(款) 10 教育費 (項) 1 教育総務費 (目) 2 事務局費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課
11 「うじたわら学び塾」 運営事業費(繰越) (歳入歳出決算書 P.97)	1,500	1,438,224	<p>小・中学生を対象に「自ら」意欲的・主体的に学び方や考え方を学ぶための場を創設するため寺子屋「うじたわら学び塾」を開講した。</p> <p>町内在住の教職員退職者や有識者、次代を担う大学生・高校生など幅広い年齢層のスタッフのもと、夏・冬休みに事業を実施した。</p> <p>○夏季事業 「英語」「漢字」「夏の学び」をテーマに12講座を実施。 延べ参加者 411人</p> <p>○冬季事業 「英語」「漢字」「冬の学び」をテーマに5講座を実施。 延べ参加者 202人</p> <p>○運営協議会を5回開催。</p>	学校教育課

(款) 10 教育費 (項) 1 教育総務費 (目) 3 育英費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課
2 高校生通学費補助金 (歳入歳出決算書 P.99)	15,384	14,571,020	高校等へのバス通学に要する費用の一部を補助することにより、保護者負担の軽減を図るとともに、生徒の就学を支援した。 27年度より、対象を拡大し、世帯の住民税所得割額合計が211,200円以下の世帯について、初乗り運賃分の学期通学定期額を控除した残額の全額を補助することとした。 【補助件数】 ○244件 14,571,020円 補助率ごとの割合 ①初乗り運賃分控除後の全額を補助 (定期有・税額211,200円以下) 39.3% ②初乗り運賃分控除後の2/3を補助 (定期有・税額211,200円超) 25.5% ③初乗り運賃分控除後の1/3を補助 (定期無) 35.2%	学校教育課

(款) 10 教育費 (項) 2 小学校費 (目) 1 学校管理費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課
1 学校施設環境整備事業費 (歳入歳出決算書 P.99)	10,727	10,726,268	小学校施設について整備・改修を行った。 【整備内容】 田原小学校 ・屋根 (EXP部) 漏水調査委託業務 151,200円 ・屋上防水改修工事設計・監理業務 421,200円 ・屋上防水改修工事 8,100,000円 ・駐車場センサーライト取付工事 99,144円 ・地上デジタル放送アンテナ工事 99,360円 ・2階廊下床張替及び教室天井補修工事 294,840円 宇治田原小学校 ・体育館カーテン修繕工事 344,444円 ・高圧受電設備改修工事 1,216,080円	学校教育課

(款) 10 教育費 (項) 2 小学校費 (目) 2 教育振興費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課
<p>1 学力充実事業費</p> <p>(歳入歳出決算書 P.99)</p>	4,474	3,991,738	<p>診断テストを活用し現状課題の改善及び学力の向上に努めるとともに、補助教員を配置することによりきめ細やかな学習指導を実施した。</p> <p>○補助教員配置 小学校 各1人</p> <p>○勤務状況 田原小学校 242日 宇治田原小学校 153日</p> <p>○学力診断テスト 実施科目 国語・算数 対象 全学年 対象児童数 田原小学校 226人 宇治田原小学校 227人</p>	学校教育課
<p>2 特別支援教育充実事業費</p> <p>(歳入歳出決算書 P.99)</p>	4,465	3,570,325	<p>発達障がいのある児童生徒に対して学校全体が組織的、体系的に取り組む体制の充実を図るため、補助教員を配置することによりきめ細やかな指導を実施した。</p> <p>○補助教員配置 小学校 各1人</p> <p>○勤務状況 田原小学校 236日 宇治田原小学校 203日</p> <p>特別支援教育コーディネーター活動（教育相談や関係機関との連携等）の充実、児童生徒一人ひとりの指導計画・特別支援計画の作成など、一人ひとりの状況に応じたきめ細かな指導の推進を図った。</p>	学校教育課

(款) 10 教育費 (項) 2 小学校費 (目) 2 教育振興費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課								
<p>3 茶の里っ子を育む学習 事業費</p> <p>(歳入歳出決算書 P.99)</p>	498	458,256	<p>お茶に関する学習を通して、生まれ育った宇治田原町の伝統文化及び産業に対する知識を養うことにより、宇治田原町に誇りをもった子どもを育成し、また、食育についての学習を促進した。</p> <p>○茶検定(合格者)</p> <p>田原小学校 3級(4年生) 41人 2級(6年生) 38人</p> <p>宇治田原小学校 3級(4年生) 36人 2級(6年生) 39人</p> <p>○総合的な学習の時間において社会人講師を活用し、茶摘み体験、茶香服などを実施した。</p> <p>○宇治田原小学校学校茶園の石碑設置</p>	学校教育課								
<p>4 学校の生活力向上支援 事業費</p> <p>(歳入歳出決算書 P.99)</p>	153	148,800	<p>児童・生徒学校生活における心理状況を測り、学校生活力の向上を図るためQUを実施した。</p> <p>※ Q-U(QUESTIONNAIRE-UTILITIES) 児童・生徒の学校生活における心理状態を測るためのアンケートであり、「児童・生徒一人一人の実態」「学級集団の状態」を同時に把握することで、いじめや不登校などの予防のために全国で活用されている。</p> <p>QU手数料(310円)</p> <p>小学校 対象学年: 4年5年6年</p> <table border="0"> <tr> <td>田原小学校</td> <td>年度内2回実施</td> <td>234人</td> <td>72,540円</td> </tr> <tr> <td>宇治田原小学校</td> <td>年度内2回実施</td> <td>246人</td> <td>76,260円</td> </tr> </table>	田原小学校	年度内2回実施	234人	72,540円	宇治田原小学校	年度内2回実施	246人	76,260円	学校教育課
田原小学校	年度内2回実施	234人	72,540円									
宇治田原小学校	年度内2回実施	246人	76,260円									

(款) 10 教育費 (項) 2 小学校費 (目) 2 教育振興費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課
8 本に親しみ豊かな心を育む図書整備事業費 (歳入歳出決算書 P.101)	2,668	2,643,581	読書に親しみやすい環境を創造することを目的に、小学校図書室に図書館司書を配置し、児童の読書活動を促進するとともに、国語力(読解力)の育成及び豊かな心を育むために必要な読書環境の整備に努めた。 ○学校図書館司書配置 小学校 各1人 ・学校図書室における蔵書整理 ・学校図書館連携システムデータ整理及び入力 ・児童に対する読書指導	学校教育課

(款) 10 教育費 (項) 3 中学校費 (目) 1 学校管理費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課
1 学校施設環境整備事業費 (歳入歳出決算書 P.101)	3,327	3,326,121	中学校施設について整備・改修を行った。 【整備内容】 維孝館中学校 ・理科室(2教室)冷暖房機器新設工事 2,492,640円 ・旧館一階女子トイレ改修工事 199,521円 ・家庭科室・理科室1サッシ改修工事 633,960円	学校教育課

(款) 10 教育費 (項) 3 中学校費 (目) 2 教育振興費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課
1 学力充実事業費 (歳入歳出決算書 P.103)	2,413	2,408,178	診断テストを活用し現状課題の改善及び学力の向上に努めるとともに、補助教員を配置することによりきめ細やかな学習指導を実施した。 ○補助教員配置 中学校 1人 ○勤務状況 維孝館中学校 236日 ○学力診断テスト 実施科目 国語・数学 対象 全学年 対象生徒数 維孝館中学校 288人	学校教育課
2 英語力向上推進事業費 (歳入歳出決算書 P.103)	631	630,730	中学校において、英語力の向上を図るため、英語検定受験に際し、希望者に一人1回分の受験費用の支援を行なうとともに、受験に向けた学習会を夏休み及び冬休みに実施した。 2級 受験者 5名 合格者 2名 準2級 受験者 21名 合格者 12名 3級 受験者 73名 合格者 27名 4級 受験者 99名 合格者 70名 5級 受験者 70名 合格者 59名	学校教育課

(款) 10 教育費 (項) 3 中学校費 (目) 2 教育振興費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課
3 茶の里っ子を育む学習 事業費 (歳入歳出決算書 P.103)	150	149,664	<p>お茶に関する学習を通して、生まれ育った宇治田原町の伝統文化及び産業に対する知識を養うことにより、宇治田原町に誇りをもった子どもを育成し、また、食育についての学習を促進した。</p> <p>○茶検定(合格者) 維孝館中学校 1級(3年生) 110人</p> <p>○総合的な学習の時間において社会人講師を活用し、茶摘み体験、茶香服などを実施した。</p>	学校教育課
4 学校の生活力向上支援 事業費 (歳入歳出決算書 P.103)	171	170,500	<p>児童・生徒学校生活における心理状況を測り、学校生活力の向上を図るためQUを実施した。</p> <p>※ Q-U(QUESTIONNAIRE-UTILITIES) 児童・生徒の学校生活における心理状態を測るためのアンケートであり、「児童・生徒一人一人の実態」「学級集団の状態」を同時に把握することで、いじめや不登校などの予防のために全国で活用されている。</p> <p>QU手数料(310円) 中学校 対象学年: 1年2年3年 維孝館中学校 年度内2回実施 550人 170,500円</p>	学校教育課

(款) 10 教育費 (項) 3 中学校費 (目) 2 教育振興費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課
9 本に親しみ豊かな心を育む図書整備事業費 (歳入歳出決算書 P.103)	1,635	1,435,255	<p>読書に親しみやすい環境を創造することを目的に、中学校図書室に図書館司書を配置し、生徒の読書活動を促進するとともに、国語力(読解力)の育成及び豊かな心を育むために必要な読書環境の整備に努めた。</p> <p>○学校図書館司書配置 中学校 1人</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校図書室における蔵書整理 ・学校図書館連携システムデータ整理及び入力 ・生徒に対する読書指導 	学校教育課

(款) 10 教育費 (項) 4 社会教育費 (目) 1 社会教育総務費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課
2 生涯学習推進事業費 (歳入歳出決算書 P.103)	1,725	1,671,584	<p>生涯学習講座「グリーンライフカレッジ」として青少年教育をはじめ、成人教育などライフステージに応じた学習機会を提供した。</p> <p>[受講者数]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グリーンライフカレッジ・ことぶき大学開講式 380人 ・青少年教育(絵画教室ほか) 延べ 473人 ・成人教育(お茶で国際交流ほか) 延べ 90人 ・高齢者教育(ことぶき大学(開講式除く)) 延べ1,600人 ・図書館講座(大人のための朗読講座) 延べ 35人 <p>学社連携事業等活動助成 地域ぐるみ子育てネットワーク、地域子ども会、PTA等の学校外体験活動などを行う団体に対し、助成を行った。</p>	社会教育課

(款) 10 教育費 (項) 4 社会教育費 (目) 1 社会教育総務費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課
3 生涯学習情報発信事業費 (歳入歳出決算書 P.103)	483	480,475	<p>町や関係機関・団体等が行う生涯学習情報を収集し、なお一層の生涯学習のきっかけづくりに繋げるとともに、学習活動への意欲向上を図るため、住民が利用しやすい形で整理した「生涯学習情報誌～学んでネット!～」を発行した。</p> <p>○発行回数：年2回（6月及び10月） ○発行部数：年6,100部（3,050部×2回） ○主な掲載内容： ・関係機関・団体等が主催する子育て、くらし・健康、歴史等の教室や講座、イベントに関する情報 ・体育協会や文化協会加盟サークル等の活動紹介やボランティア情報 ・まちづくり出前講座、学習施設や文化財に関する情報</p> <p>○配布・周知方法： ・新聞折込/シルバー人材センターによる個別配布 ・総合文化センター等の公共施設への配架 ・町ホームページへの掲載 ほか</p>	社会教育課

(款) 10 教育費 (項) 4 社会教育費 (目) 1 社会教育総務費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課
4 宇治田原ふるさと文化賞実施事業費 (歳入歳出決算書 P.103)	170	168,858	<p>「宇治田原ふるさと文化賞」の創設により、児童・生徒が改めて自分の身の回りの情景や郷土に対する観察力を向上させることで、「ふるさと宇治田原」の再認識・再発見や郷土愛が生まれるなど俳句を通したまちづくりに繋げることを目的に開催した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・選考委員長：母利 司朗氏（京都府立大学文学部教授） ・選考委員：各小中学校長、文化協会会長、社会教育委員長 ・対象：町内の小・中学生 ・応募句数：一人3句以内 ・表彰式：11月19日（土） <p>[応募結果]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・応募人数：581人（小学生：334人、中学生：247人） ・応募句数：1,293句（小学生：837句、中学生：456句） <p>入賞作品は、町広報紙への掲載や町文化センターロビーに掲示するなど活用を図った。</p>	社会教育課

(款) 10 教育費 (項) 4 社会教育費 (目) 1 社会教育総務費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課
<p>6 放課後子ども教室推進事業費 (歳入歳出決算書 P.103)</p>	796	700,974	<p>子どもを取り巻く環境の変化や家庭及び地域の子育て機能・教育力の低下が指摘されるなか、放課後における安心・安全な子どもの居場所を確保し、地域の方々の参画を得ながら学習や体験活動等の取り組みを実施した。</p> <p>○運営委員会の設置：開催回数2回 委員長 山下 満弘 氏 (社会教育委員) ほか13人 [長谷川 豊 氏 (京都府立大学准教授) にも委員として大学との連携を図った。]</p> <p>○子ども教室の概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・通 称：「まなび茶ろん」 ・実 施 日：毎週水曜日 (実績：年間23回実施) ・実施場所：田原小学校 (主な会場：図書室) 宇治田原小学校 (主な会場：図書室、まるやまルーム) ・実施時間：14：30～16：00 ・対 象：小学校1～6年生 ・内 容：14：30～15：00 宿題やプリント学習など 15：00～16：00 体験活動やスポーツなど ・登録児童：田 原 小…40人 (内、学童16人) 宇治田原小…40人 (内、学童19人) ・参加児童：田 原 小…延べ631人 宇治田原小…延べ807人 <p>[27年度]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・登録児童：田 原 小…45人 (内、学童24人) 宇治田原小…34人 (内、学童23人) ・参加児童：田 原 小…延べ695人 宇治田原小…延べ695人 	社会教育課

(款) 10 教育費 (項) 4 社会教育費 (目) 3 総合文化センター費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課
2 総合文化センター20周年記念事業費 (歳入歳出決算書 P.105)	2,878	2,876,183	<p>総合文化センターは、平成8年6月に開館以来、住民の生涯学習活動の拠点となっている。開館20周年にあたり、さらに住民の交流と生涯学習活動の振興を図り、親しまれる施設になるよう記念事業を開催した。</p> <p>◆総合文化センター 内容：ものまね腹話術 いっこく堂/Mr. チョップリン 世代を超えて楽しめる「ものまね腹話術」のスーパーライブを開催した。 チケット販売枚数 282枚 (町内在住の高校生以下の方には、塗り絵などを持参の際、割引)</p>	社会教育課

(款) 10 教育費 (項) 4 社会教育費 (目) 4 図書館費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課
2 図書館20周年記念事業費 (歳入歳出決算書 P.107)	387	290,912	<p>図書館は、平成8年6月に開館以来、住民の生涯学習活動の拠点となっている。開館20周年にあたり、さらに住民の交流と生涯学習活動の振興を図り、親しまれる施設になるよう記念事業を開催した。</p> <p>◆図書館 内容：人気絵本作家・長谷川義史氏による「絵本ライブ」 絵本の読み聞かせやライブ紙芝居に歌や演奏も交えて、絵本の持つ魅力や面白さを伝えられた。</p>	社会教育課

(款) 10 教育費 (項) 4 社会教育費 (目) 4 図書館費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課
3 こんにちは赤ちゃん絵本(ブックスタート)事業費 (歳入歳出決算書 P.107)	140	139,718	<p>保健センターで実施される乳児後期健康診断において、参加している親子一組ごとに図書館職員やボランティアが絵本の読み聞かせを行い、好きな絵本と茶ッピーの布バッグをプレゼントした。</p> <p>[参加人数] 全4回 53組に実施 (内訳)</p> <p>① 6月3日(金) 11組 ② 9月2日(金) 12組 ③ 12月2日(金) 11組 ④ 3月3日(金) 19組</p> <p>○待ち時間を有効に使い、参加親子や一緒に来られた兄弟姉妹も絵本と読み聞かせに興味を持ってもらう事ができた。</p> <p>○絵本等について、聞けない事や知らなかったことを個別に話すことができ良かったとの意見があった。</p> <p>○絵本が選択でき、茶ッピーの布バックも好評であった。</p>	社会教育課

(款) 10 教育費 (項) 4 社会教育費 (目) 6 放課後児童健全育成事業費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課
2 放課後児童健全育成事業費 (歳入歳出決算書 P.107)	17,774,000	17,587,561	勤務等により保護者が昼間家庭にいない児童に遊びや生活の場を提供し、その健全な育成を図った。 平成27年4月から対象児童を「小学4年生まで」から「小学6年生まで」に拡充 平成28年7月から土曜日及び長期休業期間の開設時間を7:30(6月までは8:00)に拡充 ・開所時間(平日)…下校時間~18:30 (土曜日・学校休業日)…7:30~18:30 【実績】 ・田原元気っ子クラブ 平均登録人数 63人 1日平均 34.6人(延べ人数 10,020人) ・宇治田原元気っ子クラブ 平均登録人数 58人 1日平均 36.1人(延べ人数 10,457人) ・年間開設日数 290日 (平成27年度) ・田原元気っ子クラブ 平均登録人数 65人 1日平均 37.5人(延べ人数 11,002人) ・宇治田原元気っ子クラブ 平均登録人数 56人 1日平均 35.9人(延べ人数 10,532人) ・年間開設日数 293日	社会教育課

(款) 10 教育費 (項) 5 保健体育費 (目) 3 学校給食費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課
<p>3 「うじたわらの日」学校給食推進事業費 (歳入歳出決算書 P.111)</p>	180	178,861	<p>宇治田原産の特産物を学校給食に使用することにより、子どもたちや保護者、地域住民の地産地消に対する理解促進を図り、地元農産物の信頼向上と需要拡大を図った。</p> <p>〈内容〉 本町における行事や記念となるべき日を「うじたわらの日」と位置づけ、宇治田原産または、町内業者から仕入れた京都府産の食材を使用した学校給食の提供を行った。</p> <p>「宗円さん命日」実施日：平成28年5月17日(火) 茶団子や宇治田原漬けを給食に添えたほか、田原・宇治田原小学校5・6年生には、お茶漬けの提供も行った。</p> <p>「町制施行の日」実施日：平成28年11月11日(金) 60周年を記念して、祖父母試食会に日を合わせて実施。この日に提供したメニューは、お茶やころ柿などの町の特産品を利用したもので、給食甲子園で準優勝したメニューを提供。</p> <p>「田原祭り」実施日：平成28年10月7日(金) 町内産の水菜・しいたけを使った給食の提供を行った。又、祭りにちなんでばら寿司にした。</p> <p>〈対象者〉 町内2小学校の児童、町内1中学校の生徒 町内私立幼稚園の園児並びに教職員等</p>	学校教育課

(款) 10 教育費 (項) 5 保健体育費 (目) 3 学校給食費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課
4 みんなで食べよう！ふれあい給食開催事業費 (歳入歳出決算書 P.111)	139	138,448	「茶ッピーランチ試食会」等を通じて、子どもたちの健全な心身と豊かな人間性を育む基礎となる食生活に関し、学校・家庭・地域が連携し食育の推進を図った。 試食会では、参加者に対して、献立表・レシピを配布し、給食の状況や児童等の様子を伝えることで現状を知ってもらうとともに、世代や地域で給食が異なっていることなどについての話題も多くあり、良い交流の場となった。 【試食会】①新入生保護者・祖父母向け 147人 ②住民向け 8人 ③各種団体向け 90人 合計 245人 【ふれあい給食】 田原小 1人 宇治田原小 3人 調理員が学級に招かれて一緒に給食をとった。	学校教育課

〈 国民健康保険特別会計 〉

【国民健康保険特別会計】 (款) 8 保健事業費 (項) 1 特定健康診査等事業費 (目) 1 特定健康診査等事業費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課
1 特定健康診査等実施事業費 (歳入歳出決算書 P.155)	9,103	7,582,984	<p>国保被保険者の健康維持・改善を図るため、メタボリックシンドローム(内臓脂肪型肥満)の早期発見を目的とした特定健康診査を行い、メタボリックシンドローム及びその予備群とされた方に対して特定保健指導を実施した。</p> <p>平成28年度 ◇受診者数 834人 (うち人間ドック受診者 153人) ◇対象被保険者数 1,862人 ◇受診率 44.79% (計画値45%) ◇実施期間 平成28年7月～9月(予備月10月) ※未受診者に対して予備月を設け、受診勧奨を行う等により、受診率向上を図った。</p> <p>平成27年度 ◇受診者数 886人 (うち人間ドック受診者 139人) ◇対象被保険者数 1,961人 ◇受診率 45.18% (計画値45%) ◇実施期間 平成27年7月～9月(予備月10月) ※未受診者に対して予備月を設け、受診勧奨を行う等により、受診率向上を図った。</p>	介護医療課

【国民健康保険特別会計】 (款) 8 保健事業費 (項) 1 特定健康診査等事業費 (目) 1 特定健康診査等事業費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課
2 生活習慣病予防対策事業費 (歳入歳出決算書 P.155)	2,291	931,328	<p>国保特定健診及び人間ドックの結果により、メタボリックシンドローム(内臓脂肪型肥満)又はその予備群と判定された被保険者に対する保健指導に、町独自基準として糖尿病り患の恐れがある者を対象に加えた保健指導を実施した。</p> <p>■平成28年度</p> <p>◆特定保健指導(国基準)</p> <p>◇対象者 106人</p> <p>うち積極的支援 27人、動機付け支援 79人</p> <p>◇実施者 56人</p> <p>うち積極的支援 13人、動機付け支援 43人</p> <p>◇実施率 52.83%(初回)</p> <p>※リスク発生者への積極的なはたらきかけにより、実施率の向上を図った。</p> <p>前年度からの継続指導</p> <p>◇対象者 63人 ◇実施者 34人</p> <p>◆重症化予防保健指導(町独自基準)</p> <p>◇対象者 6人</p> <p>◇実施者 5人</p> <p>◇実施率 83.33%(初回)</p> <p>■平成27年度</p> <p>◆特定保健指導(国基準)</p> <p>◇対象者 97人</p> <p>うち積極的支援 19人、動機付け支援 78人</p> <p>◇実施者 63人</p> <p>うち積極的支援 8人、動機付け支援 55人</p> <p>◇実施率 64.95%(初回)</p> <p>※リスク発生者への積極的なはたらきかけにより、実施率の向上を図った。</p> <p>前年度からの継続指導</p> <p>◇対象者 80人 ◇実施者 57人</p> <p>◆重症化予防保健指導(町独自基準)</p> <p>◇対象者 9人</p> <p>◇実施者 5人</p> <p>◇実施率 55.56%(初回)</p>	介護医療課

【国民健康保険特別会計】 (款) 8 保健事業費 (項) 2 保健事業費 (目) 1 保健事業費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課
4 健康意識啓発事業費 (歳入歳出決算書 P.157)	1,385	521,899	<p>特定健診受診(人間ドック含む)時点では、特定保健指導等の対象とならない、または特記すべき疾病がなく医療機関の受診がない者を対象に、健康意識の更なる啓発を目的に、健診結果等を分析し、かかりやすい疾病の紹介や効果的な予防方法(運動および食事)等を勧奨し、健康に対する正しい知識の習得及び意識の啓発を行った。</p> <p>平成28年度</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇個別訪問対象者(全体) 180人 <ul style="list-style-type: none"> ①中性脂肪300以上LDL180以上 15人 ②中性脂肪300未満LDL140~180 61人 ③HbA1c6.0~6.5未満(脂質基準未満) 10人 ④中性脂肪<300かつLDL<140かつ5.6≤HbA1c<6.0 64人 ◇個別訪問実施者 106人 ◇健康意識啓発リーフレット送付者 661人 <ul style="list-style-type: none"> 特定健診等受診者のうち、特定保健指導及び個別訪問実施者以外で、国保資格を有するものへ送付 	介護医療課

〈 後期高齡者医療特別会計 〉

【後期高齢者医療特別会計】 (款) 3 保健事業費 (項) 1 健康保持増進事業費 (目) 1 健康診査費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課
<p>1 後期高齢者健康診査費</p> <p>(歳入歳出決算書 P.175)</p>	<p>3,999</p>	<p>3,443,565</p>	<p>高齢者の健康保持・増進を図るため、後期高齢者医療被保険者を対象とした健康診査を実施した。</p> <p>平成28年度</p> <p>◇受診者数 345人 (うち人間ドック受診者 39人)</p> <p>◇対象被保険者数 1,230人 (H28.10月末)</p> <p>◇受診率 28.05% (人間ドック含む)</p> <p>◇実施期間 平成28年7月～9月(予備月10月)</p> <p>※未受診者に対して予備月を設け、受診勧奨を行う等により、受診率向上を図った。</p> <p>平成27年度</p> <p>◇受診者数 343人 (うち人間ドック受診者 26人)</p> <p>◇対象被保険者数 1,189人 (H27.10月末)</p> <p>◇受診率 28.85% (人間ドック含む)</p> <p>◇実施期間 平成27年7月～9月(予備月10月)</p> <p>※未受診者に対して予備月を設け、受診勧奨を行う等により、受診率向上を図った。</p>	<p>介護医療課</p>

〈 介護保険特別会計 〉

【介護保険特別会計】 (款) 3 地域支援事業費 (項) 1 介護予防事業費 (目) 1 介護予防事業費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課
1 通所型介護予防事業費 (歳入歳出決算書 P.203)	7,076	7,075,000	<p>要支援・要介護状態にならずに健康でいきいきと元気に過ごすとともに寝たきりや認知症、生活習慣病等を予防するため、通所型介護予防事業を実施した。</p> <p>平成28年度 一次予防事業(一般高齢者対象) ①元気はつらつ若返り塾(委託) 登録人数:197人 実施回数:170回 参加延べ人数:2,406人 (町内11地区公民館等で各地区1~2回/月開催) ②おやじエクササイズ(委託) 登録人数:28人 実施回数:24回 参加延べ人数:459人 (総合文化センターで2回/月開催) 二次予防事業(一般高齢者対象) ①元気アップ教室(委託) 4教室全9回シリーズ(運動・口腔機能向上・栄養改善) 実施回数:4×9=36回(総合文化センターで開催) 参加者(延べ参加)人数:68人(519人)</p> <p>平成27年度 一次予防事業(一般高齢者対象) ①元気はつらつ若返り塾(委託) 登録人数:202人 実施回数:171回 参加延べ人数:2,436人 (町内11地区公民館等で各地区1~2回/月開催) ②おやじエクササイズ(委託) 登録人数:33人 実施回数:24回 参加延べ人数:540人 (総合文化センターで2回/月開催) 二次予防事業(一般高齢者対象) ①元気アップ教室(委託) 3教室全9回シリーズ(運動・口腔機能向上・栄養改善) 実施回数:3×9=27回(総合文化センターで開催) 参加者(延べ参加)人数:38人(291人)</p>	介護医療課

【介護保険特別会計】 (款) 3 地域支援事業費 (項) 2 包括的支援事業・任意事業費 (目) 1 包括的支援事業・任意事業費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課
9 SOSネットワーク「みんなで見守りうじたわらネット」事業費 (歳入歳出決算書 P.203)	120	105,948	徘徊の恐れがある高齢者の情報を事前に家族に登録してもらおう。一方で行方不明の方の発見に協力していただける方を登録してもらい、高齢者の早期発見・見守り等に繋げるためのネットワークの構築を図った。 平成28年度 ○徘徊等の恐れがある高齢者の登録：7人 ○協力機関（企業・個人）：51社 ○搜索事案なし ○協力機関に対して、「みんなで見守りうじたわら」啓発マグネットを作成配布し、見守り体制の強化を図った。	介護医療課

〈 公共下水道事業特別会計 〉

【公共下水道事業特別会計】 (款) 1 総務費 (項) 1 総務管理費 (目) 1 一般管理費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課
<p>3 下水道事業企業会計移行事業費</p> <p>(歳入歳出決算書 P.237)</p>	<p>3,100</p>	<p>2,648,160</p>	<p>公共下水道の施設(管渠・処理場)整備費用、既存施設等の老朽化に伴う更新投資の増大、人口減少に伴う料金収入の減少が見込まれるなど下水道事業を取り巻く環境が厳しさを増す中、経営・資産等を正確に把握することで安定した下水道経営の実現を図り、持続的な下水道サービスが提供できるよう公営企業会計への移行(地方公営企業法の適用)を行うため、地方公営企業法適用化支援業務委託を行った。</p> <p>〈業務内容〉</p> <p>①固定資産調査及び評価業務 (資料の収集及び整理、資産評価マニュアルの作成等)</p> <p>②地方公営企業法適用業務の支援</p> <p>③会計システム等の導入支援</p> <p>〈事業開始年度〉 平成28年度～平成30年度</p> <p>〈法適用の時期〉 平成31年4月1日予定</p> <p>〈事業費〉 14,040,000円 債務負担行為(平成28年度～平成30年度)</p> <p>H28年度 2,648,160円 H29年度 2,100,600円 H30年度 9,291,240円</p> <p>〈平成28年度業務内容〉 固定資産調査及び評価業務 (資料の収集及び整理、資産評価マニュアルの作成等)</p>	<p>上下水道課</p>

【公共下水道事業特別会計】 (款) 1 総務費 (項) 1 総務管理費 (目) 5 下水道普及費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課
1 下水道普及促進事業費 (歳入歳出決算書 P. 239)	3, 431	2, 720, 093	公共下水道及び浄化槽整備推進事業による水洗化を促進するため、奨励金、融資あっせん制度、啓発活動等により普及を図った。 〈実施内容〉 ① 公共下水道普及促進奨励金の交付(要件緩和) H28年度実績 46件 (内3年経過交付: 14件) H27年度実績 48件 (内3年経過交付: 11件) H26年度実績 50件 (内3年経過交付: 21件) ② 融資あっせん H28年度実績 2件 累計22件 H27年度実績 2件 H26年度実績 0件 ③ 啓発活動 供用区域PRチラシ(年1回) 一般広報・水洗化相談等(随時) ④ 下水道整備普及率(公共下水道+町管理浄化槽) 81. 4% (対前年+13. 55%) ⑤ 水洗化人口(公共下水道+町管理浄化槽) 6, 306人 (対前年+1, 286人) ⑥ 下水道水洗化率(公共下水道+町管理浄化槽) 82. 2% (対前年+5. 1%) ⑦ 水洗化促進戸別勧奨活動 シルバー人材センターへ委託 H28 217戸を訪問、うち70件に対し下水道接続の勧奨実施 H27 271戸を訪問、うち112件に対し下水道接続の勧奨実施 H26 271戸を訪問、うち87件に対し下水道接続の勧奨実施	上下水道課

〈 水道事業会計 〉

【水道事業会計】 (款) 1 資本的支出 (項) 1 建設改良費 (目) 4 拡張事業費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課
1 立川浄水場系統(川東取水井)新設事業費 (歳入歳出決算書 P. 27)	27,000	25,674,840	立川浄水場系統の安定的な取水量を確保するため、新水源(川東取水井)の新設事業に取り組んだ。 〈内容〉 新水源(川東取水井)の導水管敷設工事を実施した。 導水管 DCIPΦ150 L=480m H28年度 新水源導水管布設工事 25,674,840円 新水源築造工事・機械電気設備工事・配電線一部支障移設工事 103,042,313円 計画揚水(取水)量 960m ³ /日 〈事業経過〉 H27年度 導水管用地境界復元業務 54,000円 H26年度 導水管水管橋用地購入 277,400円 新水源関連(職員駐車場整備)工事 280,800円 H25年度 新水源(川東取水井)導水管新設工事実施設計業務 1,942,500円 導水管水管橋用地測量 241,500円 新水源土地購入 2,943,600円 H24年度 新水源用地測量等業務委託 409,500円 H23年度 新水源連続揚水調査業務委託 525,000円 新水源連続水位測定調査業務 592,200円 新水源取水井新設実施設計業務 4,410,000円 H22年度 新水源調査業務(その1) 2,100,000円 新水源調査業務(その2) 4,140,150円	上下水道課